

健康的な生活習慣づくり



基本的な考え方

生活必需品やサービスを提供するライオングループは、社会において重要な役割を果たしており、歯みがきや手洗いといった健康に直結する生活習慣を定着させていくこそが、価値創造の原点であると考えています。自らのパーパス「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する（ReDesign）」に基づいた「健康的な生活習慣づくり」を事業展開エリアののべ10億人に提供することで、より多くの人々の毎日に貢献するとともに、事業の拡大をはかります。



ライオングループの2030年までの取り組み

取り組み



オーラルケア習慣の定着化に向けた取り組み



清潔・衛生習慣の定着化に向けた取り組み



海外グループでの取り組み



オーラルケア習慣の定着化に向けた取り組み

サステナビリティ重要課題2 健康な生活習慣づくり



- ✓ 考え方
- ✓ 予防歯科（セルフケア）
- ✓ 予防歯科（プロケア）
- ✓ インクルーシブ・オーラルケア
- ✓ 研究・学術（「予防歯科」研究）
- ✓ オーラルケアに関する情報

考え方

「予防歯科」とは、むし歯などになってからの治療ではなく、なる前の予防を大切に考えることです。歯とお口の健康を積極的に守るため、歯科医院などでの「プロケア（プロフェッショナルケア）」と、歯科医や歯科衛生士の指導に基づいた毎日の「セルフケア」の両方を習慣化させることが重要です。ライオングループでは、一人ひとりのライフスタイルや心身の健康状態に合わせて、前向きな「予防歯科習慣」の実践を後押しする商品・サービスを提供しています。さらに行政、歯科専門家、パートナー企業等と連携しながら、アジアすべての人たちに「予防歯科習慣」を広げる活動も行っております。誰もが生涯を通じて、必要な時に、いつでも予防歯科を行える機会を提供して、人々の健康増進へ貢献することを目指します。



予防歯科（セルフケア）

- ✓ セルフケア（自分で「予防歯科」）
- ✓ 歯みがきのうた・動画・ポスター
- ✓ 昼歯みがき促進
- ✓ デンタルフロス使用促進
- ✓ 定期的なハブラシ交換とリサイクルの推進
- ✓ デジタル技術を活用した新たな予防歯科習慣づくり
- ✓ ライフステージ別オーラルケア普及啓発活動
- ✓ オーラルヘルスケアリーダー養成
- ✓ 法人向けウェルビーイングサービス

セルフケア（自分で「予防歯科」）

自分ではきちんと歯みがきをしているつもりでも、みがき残しができてしまうものです。お口の健康を管理・維持するためには、「予防歯科」のポイントに合わせたセルフケアを毎日の習慣にすることが大切です。

当社グループでは、お口の中に歯垢を残さないように歯みがきをすることや、自分のお口の状態を把握して「予防歯科」の意識を高める新習慣等の普及に向けて、様々な取り組みを実施しています。

歯みがきのうた・動画・ポスター

小学生を中心とした子どもたちが、楽しくみがき忘れのない正しい歯みがき習慣を身につけられるように、歯みがきの順番を歌詞に入れた、うたの動画（みがきかたや順番を身につけるまでご覧いただく「みがきかた編」、みがきかたが身についたらご覧いただく「アニメーション編」）、歯みがき順番ポスターを制作しました。

歯みがきのうた「イ～ハ～」 作詞・作曲・うた：吉田山田

> 歌詞のダウンロード 

動画（みがきかた編）

歯科衛生士が歌に合わせて、みがく順番やポイントをレクチャーします。

※ みがきかたや順番を身につけるまで使用を推奨



動画（アニメーション編）

楽しく見ながら歯みがきすることで習慣化につなげるアニメーションです。

※ みがきかたが身についたら使用を推奨



え：山田義孝（吉田山田）

歯みがき順番ポスター

歌詞に合った歯みがきの順番やポイントを確認できます。

キャラクターデザイン：山田義孝（吉田山田）

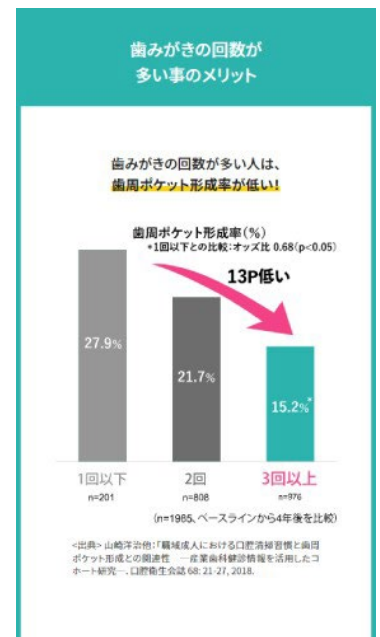


ダウンロード [A1版 PDF](#) [A3版 PDF](#)

昼歯みがき促進

1日3回の歯みがき習慣の定着を目指し、昼歯みがきの普及活動に取り組んでいます。国民の就業率（15歳以上人口に占める就業者の割合）は、約6割に達しています（平成30年度労働力調査 総務省統計局）。生活者の多くが職場で日中を過ごす中、オフィス等の職場で「昼食後に歯をみがいている」人は40%で、「昼も歯みがきをしたいが、できていない」人は22%いました（当社調べ）。

そこで、当社はオフィスでの歯みがきを考慮して設計したコップ付きオーラルケアセット『MIGACOT』を発売しました。一人でも多くの方が、昼歯みがきが当たり前となるよう、商品の提供とともに普及活動に取り組んでいきます。



オフィス用歯みがきセット

MIGACOT
ミガコット



デンタルフロス使用促進

「予防歯科」の必要性や効果を伝えていく取り組みを行っています。セルフケアのポイントの一つに、「歯垢を残さず落とすこと」があります。歯と歯の間の歯垢は、ハブラシのみでは約6割しか落とせません（図）。しかし、ハブラシとデンタルフロスを併用することで、歯垢除去率が1.5倍に向上します。

当社は、ハブラシとデンタルフロスの併用を促進しています。小学生以上のお子様や初心者の方でも使いやすい商品を提供するとともに、デンタルフロスを使用する必要性をお伝えし、正しい使い方等の普及活動*も行っています。



* 小学生に対しては、毎年開催している「[全国小学生歯みがき大会](#)」にて、歯並びに合わせた歯のみがき方やデンタルフロスの使い方を、楽しく学べる機会を提供しています。

今後も生活習慣の改善により、健康は自分自身の行動と関連しているという意識を育て、望ましい習慣を継続することの大切さの理解浸透を図っていきます。

クリニカアドバンテージデンタルフロス

定期的なハブラシ交換とリサイクルの促進

「お口がいい！」と「環境にもいい！」の実現でSDGsにも貢献

当社は創業以来、生活者のオーラルケア習慣の普及定着活動に取り組んできました。近年では、海洋プラスチック問題等への対応が大きな社会課題となっており、オーラルケアのリーディングカンパニーとして、リサイクルはメーカーである当社の課題でもあります。当社事業の中で製品プラスチックの使用量が一番多いハブラシを通じて、生活者の健康な習慣づくりと同時に、環境負荷低減にもつながる仕組みに取り組んでいます。



歯ブラシ交換デーの制定

ハブラシは使い続けると毛先が開き、刷掃力が低下します。当社調べによると、ハブラシを毎月1回交換する生活者は約4割しかいません*。交換しない理由として、「まだ使える」「もったいない」や「刷掃力が低下することを知らない」等が挙げられます。

*個人差はありますが、交換は月1回を目安とすることをおすすめしています。



2018年2月より毎月8日を「歯ブラシ交換デー*」とし、月1回の定期的なハブラシの交換を呼びかける活動を行なっています。

生活者に適切な交換時期を知っていただくため、お取引先様と連携し、店頭で毎月8日の「歯ブラシ交換デー」のPOP広告を掲示したり、歯科医院に定期的なハブラシの交換を推奨するポスターを掲示する等、月1回のハブラシ交換を推奨しています。

今後も、当社は月1回のハブラシ交換が習慣となるよう、お取引先様や歯科医院等とともに、活動を継続していきます。



店頭イメージ

* 2017年12月27日、一般社団法人日本記念日協会の認定を受け、新たな記念日として制定されています。

> ニュースリリース：新習慣！一人ひとりに合ったMyハミガキを始めよう毎月1日を「Myハミガキの日」と制定

ハブラシリサイクルの推進

ハブラシ交換の普及により、ハブラシの交換頻度が増えることは、廃棄物の増加につながるものが懸念されます。

そこで当社は近年の海洋プラスチック問題にも配慮し、今までごみにしかなかった使用済みハブラシをテラサイクルジャパン合同会社と共同で、回収してリサイクルする「ハブラシ・リサイクルプログラム」をアジアで初めて開始しました。ハブラシリサイクルにご協力いただける生活者一人ひとりも大事なパートナーという考えのもと、「資源循環型社会」を目指して歩みを進めています。



新渡戸文化小学校のハブラシリサイクル活動の様子

回収拠点数 **1,398拠点** 回収数 **約156万本**
(2024年3月末時点)

デジタル技術を活用した新たな予防歯科習慣づくり

お口のフィットネスサービス『ORAL FIT（オーラルフィット）』

「むせる」「話しづらい」「噛みづらい」等のお口周りの筋力の低下が原因の一つとして考えられる衰えに対し、口腔健康の維持・増進を目指した「お口のフィットネス」という新習慣を提案するサービス『ORAL FIT（オーラルフィット）[🔗](#)』を2022年11月より提供しています。1日10分、2カ月間トレーニングで、気になる口腔機能の衰えの予防・改善を目指すプログラムです。



子どもの成長見守りサービス『おくち育』

子どもの成長段階に合わせ、適切な歯みがき習慣づくりや、良い歯ならびの土台づくりを支援するオーラルケアプログラム『おくち育[🔗](#)』を2023年4月より専用ECサイトにて提供開始しました。その第一弾となるのが、「歯ならびの土台づくり」が重要な生え変わり期の子どもの対象とした『おくち育 噛もっと！』です。『噛もっと！グミ』を毎日食べて噛む力を育み、月1回『噛もっと！ガム』で噛む力をチェックし、『おくち育会員サイト』で『歯ならびチェック』ができるAIアプリの3点がセットになっています。



歯ぐきチェックツール『HAGUKI CHECKER（ハグキチェッカー）』

「予防歯科」の意識向上を目指し、2019年より、歯ぐきチェックツール『HAGUKI CHECKER[🔗](#)*1』のサービスを開始しました。当サービスは、スマートフォンで歯と歯ぐきを含む口の中を撮影するだけで、AIが歯を1本ずつ識別し、歯1本ごとの歯ぐきの状態（下がり、くすみ、ハリ）を確認できるチェックツールです。サービスを開始後、のべ約71,000人*2の方々に利用して頂いています。口腔環境の可視化により、生活者が自分の歯ぐきの状態に関心を持つきっかけとなり、繰り返し使うことで歯ぐきの変化に早く気づく等、生活者のオーラルケア習慣を見直すきっかけを提供しています。

*1 当社が保有するデータや知見をもとに、Automagi（株）が保有するAIの画像解析技術と（株）エムティーアイのサービス開発技術を活用して開発しました。

*2 対象期間：2019年7月22日~2024年5月16日

～チェックの内容～

歯1本ごとの歯ぐきの状態について、次の3項目につき3段階での解析結果が表示されます。

- 歯ぐき下がり
- 歯ぐきのくすみ
- 歯ぐきのハリ

さらに、歯ぐきの状態の結果と合わせて、オーラルケアに関する知識や方法、おすすめのオーラルケア製品を紹介します。

HAGUKI CHECKER



歯1本ごとの
歯ぐきのチェック結果

ライフステージ別オーラルケア普及啓発活動

毎日のオーラルケアは、生涯の健康にもつながる大切な習慣であり、小さいころから身につけることが重要です。当社は、あらゆるライフステージにおいて、セルフケアを実践していくことが重要と考えています。生活者のライフステージに沿った普及定着のために、当社のみならず、行政・学校・病院・歯科医院等の社外団体との連携を通じて、活動を推進しています。また、当社はライオン歯科衛生研究所（LDH）*のオーラルケア普及活動を支援しています。

* LDH = The Lion Foundation for Dental Health

当社は、1964年に財団法人として設立、2010年に公益財団法人への移行認定を受けた（公財）ライオン歯科衛生研究所（LDH）のオーラルケア普及活動を、全面的に支援しています。LDHは、日本歯科医師会、大学、行政等と連携しながら3つの公益事業を通じ、生活者の歯とお口の健康を保持増進し、すべての人々の生活の質の向上に結びつけられるようオーラルケアの最前線で社会に貢献しています。

LDHの3つの公益事業（財団の概要）

乳幼児

0才からの「予防歯科」の推進

当社は、「予防歯科」の習慣をできるだけ小さいころから身につけることを目指しています。

そのために、商品開発においては、0才からの「予防歯科」を実現する『クリニックKid's』シリーズを充実させています。1才半健診には『クリニックKid's ジェルハミガキ』のサンプリングを行っています。

情報発信においては、親子の歯みがきの時間は「親子の絆を深める大切な時間」という考え方を広く浸透させるため、子どもの「予防歯科」を応援するWebサイト「[HA!HA!HA!パーク](#)」を通じて、情報を発信しています。

小学生

国内外累計約273万名以上の子どもたちを対象に「全国小学生歯みがき大会」を開催

1932年から続いている「全国小学生歯みがき大会」は、小学生を対象に毎年「歯と口の健康週間」の時期（6月4日～10日）に合わせて開催しています。

2023年に行われた第80回大会は、参加校が実施日を設定し、約40分間のDVD教材を視聴して参加する方式で実施されました。日本をはじめアジア各地の参加を合わせ、総数4,934校、約27万名の小学生が参加しました。第80回大会では「歯と自分をみがこう。」をテーマに、明海大学の安井利一先生監修のもと、「歯ぐき」を題材として、お口の状態に合わせたみがき方、デンタルフロスの使い方を学び、「予防歯科」の理解と浸透を図るとともに、生活習慣の中心にあるオーラルケアを通じて「継続する力」の大切さを学びました。

全国小学生歯みがき大会

参加人数累計：約273万名



日本をはじめアジア各地の子どもたちも参加

> アジアを中心とする各国で開催している「小学生歯みがき大会」



キッザニアでの職場体験

当社は、2006年に「キッザニア東京」、2009年に「キッザニア甲子園」、2022年に「キッザニア福岡」に、それぞれ「歯科医院」をテーマにしたパビリオンを出展しています。子どもたちの職業体験の場として、歯科医師や歯科衛生士の仕事の体験ができ、どちらも子どもたちに人気があります。

当パビリオンでは歯の大切さや、お口の健康を自分でケアすることを学び「歯科医師」「歯科衛生士」として口腔衛生等の研修を受けた後、診療台の上の患者（歯科大学での実習用フィギュア）に実際に現場で使用しているものと同様ポリッシャーやバキューム等を使い、むし歯治療とフッ素塗布をして、キッザニア専用通貨の報酬を得ることができます。

仕事を体験した子どもたちからは「治療をするのはすごく大変だと思った。」「きちんと磨ける歯みがきの方法について学べた。」「歯垢を落として歯を守れたのが嬉しかった。」等の声も聞かれ、むし歯予防の大切さがしっかりと伝わっているようです。



キッサニア東京の「歯科医院」パビリオン



患者にむし歯治療をする様子



キッサニア甲子園の「歯科医院」パビリオン



研修を受ける子どもたち



キッサニア福岡の「歯科医院」パビリオン



器具の持ち方・使い方を練習する様子

> ニュースリリース：キッサニア東京にてLION×日本歯科医師会スペシャルイベント開催 

オーラルヘルスケアリーダー養成

当社は、生活者へ自分でできる「予防歯科」行動を浸透させたいと考えています。そこで、地域行政の方が主体となり「オーラルヘルスケアリーダー」として、地域住民の皆様へ全身健康につながる歯みがきに関する知識や実技についてお伝えしていただけるよう「オーラルヘルスケアリーダー養成」講習会を行っています。現在は、協定を結んでいる宮城県石巻市、香川県坂出市、東京都台東区にて活動をしています。



オーラルヘルスケアリーダー講習会の様子
(2022年10月：坂出市役所会議室にて)

> 石巻市

> 坂出市

法人向けウェルビーイングサポートサービス

企業の従業員様や自治体職員様に向け、「オーラルケアセミナー」や5分でお口の状態がわかる「唾液検査」等を提供しております。お口から始める健康習慣づくりのお手伝いを行い、オーラルヘルスケアの浸透に努めています。



予防歯科（プロケア）

- ✓ プロケア（歯科専門家による予防歯科）
- ✓ お口の健康状態の見える化（SMT）
- ✓ 歯科医院の「予防歯科」実践サポート（Lサポ）

プロケア（歯科専門家による予防歯科）

歯並び等、お口の状態は一人ひとり異なります。歯の治療だけでなく、むし歯や歯周病等になる前の予防のために、歯科専門家である歯科医師や歯科衛生士に自分に合った歯みがき指導やフッ素塗布等、プロによる専門的なケアをしてもらうことが必要です。また、歯や歯ぐきの健康、お口の状態等、定期的なチェックのために、歯科医院等での健診を年に2～3回受けることが望ましく、当社では定期的なプロフェッショナルケアの受診を習慣化することを推進しています。

お口の健康状態の見える化（SMT）

多項目・短時間唾液検査システム「SMT (Salivary Multi Test)」は、3mLの蒸留水で洗口することで唾液を採取し、歯や歯ぐきの健康、口腔清潔度に関する6つの項目（むし歯菌、酸性度、緩衝能、白血球、タンパク質、アンモニア）を5分間で測定することができる装置です。そのため、歯科健診等を行う際、歯科医師や歯科衛生士はその場で患者に結果をフィードバックできます。このシステムは、一定の歯科医療施設で採用され、「予防歯科」に取り組む機会を創出し、患者の予防意識の変容とオーラルケア習慣の定着に活用されています。



軽く洗口し唾液を採取



試験紙と専用機器で測定



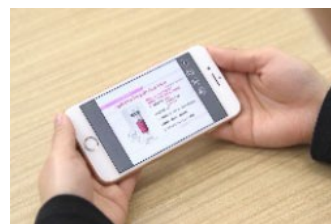
歯科医院の「予防歯科」実践サポート（Lサポ）

ライオン歯科材（株）にて、歯科医院向けの「予防歯科」実践をサポートする「Lサポ」を運営しています。

「Lサポ」とは、歯科医院の皆様が「予防歯科」に注力できるよう、日々の診療に役立つ情報やサービスを提供する医院登録制プログラムです。歯科医療従事者を対象とした専用サイトを設け、セミナーや動画コンテンツ等、歯科医院向けオーラルケア商品をはじめ「予防歯科」に関する知識やスキル向上を支援するコンテンツを多数提供しております。



「予防歯科」セミナーの様子



動画コンテンツ視聴の様子

インクルーシブ・オーラルケア

オーラルケア習慣を誰もが身に付けられるよう、オーラルケア機会の接点拡大により人や社会の課題に取り組む活動「インクルーシブ・オーラルケア」を推進しています。日本では子どもの相対的貧困（貧困率：11.5%^{*1}）が社会問題化しており、生活困難世帯で育った子どもたちは、そうでない子どもたちと比べ、特に5本以上のむし歯の割合が約2倍も高い現状があります^{*2}。また、健康習慣をはじめ、あらゆる体験^{*3}が不足しています。

そこで、当社は2021年から「歯とお口の健康」をテーマにした体験プログラムを独自開発し、「こども食堂」を中心に「予防歯科習慣の普及」と「自己肯定感の向上」に貢献する「おくちからだプロジェクト」をNPO法人や自治体と連携して取り組んでいます。また、従業員がボランティアで参加できる機会をつくり、自ら社会課題に直接触れ、当社が目指す方向性とパーパスの実践に寄与することの重要性への理解促進につなげています。

2022年には、子どもの貧困率及び子どものむし歯比率^{*4}が最も高い沖縄県において、産官学連携で体験プログラムの実施前後の効果について検証を行いました。その結果、体験を通じて、オーラルケアの習慣化や自己肯定感の向上が促される兆しを見出すことができました。

今後も、検証の知見を活かして、より効果的な体験プログラムを提供していきます。



「歯とお口の健康」に関するプログラム



体験プログラム参加前後の歯垢の付着状態の変化
* 染め出し部は歯垢の付着部分

*1 出所：厚生労働省「2022（令和4）年 国民生活基礎調査」

*2 国立研究開発法人国立成育医療研究センター研究所 社会医学研究部、足立区・足立区教育委員会（2016年度）

*3 他者から褒められる体験、大人とのコミュニケーション、ライフスキルの獲得体験

*4 出所：文部科学省「令和2年度 学校保健統計調査」



研究・学術（「予防歯科」研究）

- ✓ 産学連携
- ✓ ライオン学術賞

産学連携

少子高齢化・人口減少・資源の枯渇等、膨大化する社会課題やAI・IoTに象徴されるテクノロジーの劇的な進化等により、社会そして人々のくらしは日々大きく変化しています。当社は、これらの変化に対応し、人々のヘルスケアを支える企業になるため、「モノ」の提供のみに留まらず、お客様に新しい「価値」を提供していくことに重きを置いています。その実現のためには、行政・企業等の外部組織とのパートナーシップを強化し「オープンイノベーション」に取り組むことが鍵となります。

オーラルヘルス領域では、青森県黒石市及び国立大学法人弘前大学と、小学校を対象とした歯並びの実態を調査し、生活習慣との関係性を確認しています。また、株式会社日立製作所日立健康センターとは、1万人規模で職域における歯科健診の有用性を確認し、従業員の健康につながる有用なデータを取得しています。このような新たな情報を獲得し発信するとともに製品・サービス開発へ活用することで、より良い習慣づくりに向けた価値導出につなげています。

- > ニュースリリース：～歯科健診をより多くの人・企業に～日立とライオンが健康診断データを解析 歯科健診による従業員のオーラルケア行動変容が生産性向上に寄与する可能性を確認 [PDF](#)
- > ニュースリリース：～歯科健診をより多くの人に～日立とライオンが健康診断データを解析 職域における歯科健診の導入が口腔及び全身の健康状態に寄与する可能性を確認 [PDF](#)
- > ニュースリリース：ライオン×青森県黒石市×弘前大学の共同研究 歯並びの状態と日常生活習慣や癖が関係する可能性を確認 [PDF](#)

ライオン学術賞

「予防歯科」の学会活動や若手研究者の育成を支援する目的で「ライオン学術賞」を2001年に創設しました。本賞は、世界最大の歯科学会である「国際歯科研究学会（IADR）」やアジアの歯科学会である「アジア予防歯科学会（AAPD）」と国内の「日本小児歯科学会」「日本口腔衛生学会」「日本老年歯科医学会」「歯科基礎医学会」「日本歯周病学会」5歯科学会に学術賞として設置され、創造的な研究を行った研究者に対して盾と賞金を進呈しています。

ライオン学術賞授賞式



国際歯科研究学会（IADR）の受賞者

2023年度の実績

学会名	授賞式開催都市	学会開催日	受賞者（所属）
国際歯科学研究学会 （IADR）	コロンビア	6月21日 -6月24日	Mateus Xavier de Queiroz (University of Campinas, São Paulo, Brazil) Jessy Kamila Sihuyay Torres (University of Toronto, Ontario, Canada) Sofia Tortora Morel (SUNY Downstate University of Health Sciences, Brooklyn, New York, USA)
アジア予防歯科学会 （AAPD）	香港	11月8日 -11月10日	1st Prize in the Junior Category Ka Ti Lee (The University of Hong Kong, Hong Kong, China) 2nd Prize in the Junior Category Jingwen Xia (Shenzhen University, Guangdong Province, China) 3rd Prize in the Junior Category Hantao Yao (Wuhan University, Hubei, China) 1st Prize in the Senior Category Khai Quang Dao (University of Medicine and Pharmacy at Ho Chi Minh City, Ho Chi Minh, Vietnam) 2nd Prize in the Senior Category Shinan Zhang (Kunming Medical University, Yunnan, China) 3rd Prize in the Senior Category Hao Yu (Fujian Medical University, Fujian, China)
日本小児歯科学会	長崎市 （出島メッセ長崎）	5月18日 -5月19日	伊藤 龍朗 （日本大学 松戸歯学部 臨床講座 小児歯科学 専任講師） 大継 将寿 （大阪大学大学院 歯学研究科 口腔科学専攻 助教）
日本口腔衛生学会	大阪市 （大阪国際交流セン ター）	5月19日 -5月21日	泉 繭依 （九州歯科大学 歯学部口腔保健学科 講師） 坂中 哲人 （大阪大学大学院 歯学研究科 予防歯科講座 助教）
日本老年歯科医学会	横浜市 （パンフィコ横浜）	6月16日 -6月18日	泉 繭依 （九州歯科大学 歯学部口腔保健学科 講師）

学会名	授賞式開催都市	学会開催日	受賞者（所属）
			畑中 幸子 （昭和大学歯学部 高齢者歯科学講座 助教）
歯科基礎医学会	千代田区 （日本大学歯学部）	9月16日 -9月18日	該当者なし
日本歯周病学会	長崎市 （出島メッセ長崎）	10月13日 -10月14日	高橋 直紀 （新潟大学大学院 医歯学総合研究科歯周診断・再建学分野 准教授） 岩山 智明 （大阪大学大学院歯学研究科 口腔治療学講座 助教）

オーラルケアに関する情報

[歯の健康基礎知識](#)

[実践しよう！予防歯科](#)

[歯とお口の健康（Lidea）](#)

[HA!HA!HA!パーク（0才からの予防歯科）](#)

[ママ、あのね。（育児と乳歯の情報サイト）](#)

[歯みがKids（ずっと健康な歯へ 小学生歯みがき研究サイト）](#)

[災害時の「お口の健康ケア」広告（2021年3月11日読売新聞全国版朝刊に掲載）](#)  （PDF：997KB）

清潔・衛生習慣の定着化に向けた取り組み

サステナビリティ重要課題2 健康な生活習慣づくり



- ✓ 考え方
- ✓ 活動方針
- ✓ 正しい清潔・衛生習慣づくり
- ✓ 災害時清潔健康ケア
- ✓ プロの手指衛生管理

考え方

ライオンは、1890年代より石けんや洗剤等を使用して「洗う」ということの普及啓発を行っています。さらに1990年代以降は食中毒の集団感染が大きな社会問題となり、楽しく洗える殺菌ハンドソープという独自のアプローチで、商品とともに「正しい手洗い習慣づくり」にも取り組んでいます。

「みんなでバイ菌・ウイルスを持たない、持ち込ませない。そのために、まずは帰ったら手を洗ってうがいをする。」当社は、みんなで健康な毎日過ごすために、そんな基本的な習慣をしっかりと根づかせたいと考えています。この活動は従来より日本のみならずアジアでも、取り組んでいます。

活動方針

清潔・衛生習慣の定着化に向けて、いつでもどんな時でも実践出来る正しい習慣づくりを方針としています。子どもたちを中心に日常における正しい清潔・衛生習慣づくりとともに、水が不足し手洗いが難しい時でも出来る手の清潔ケアや、飲食店やホテル等の食のプロに対する清潔・衛生習慣づくりを目指しています。実施にあたっては、『キレイキレイ』ブランドをもとに、生活者に寄り添って、それぞれの地域の行政や学校等、コミュニティの皆様とともにパートナーシップを取りながら、従業員が主体となっても活動を進めています。

正しい清潔・衛生習慣づくり

従業員参画

若手従業員の研修の一環として、手洗い習慣の普及活動を行っています。この活動は、毎年100名前後の従業員がチームに分かれ全国の幼稚園や保育所で、園児に手洗いの大切さを教えています。

また、お取引先様と連携した活動や若手従業員の研修に幼稚園・保育所での手洗い習慣普及活動を組み入れ、従業員の意識向上にもつなげています。名古屋のスギヤマ薬品様をはじめ、各地のお取引先様との取り組みを推進しています。



従業員の研修による手洗い習慣の普及活動（2019年）

2021年からは従業員による正しい手洗い習慣の普及活動の対象を幼稚園、保育所の他、小学校にも拡大しました。

授業では「自分と大切な人の健康を守る正しい手洗いを学ぼう」をテーマになぜ手洗いをしないといけないのか、ウイルスや細菌から身を守る方法はなにか等参加した児童が講師とともに考えることで、正しい手洗いについての理解と習慣の定着を図っています。コロナ禍では感染リスクを抑えるためにリアルとオンラインのハイブリッド型で授業を行っていましたが2022年以降はリアルでの開催にシフトしています。



出張授業（2022年）

2012～2023年の間に累計で約1,600名の従業員が手洗い習慣の普及活動に参加しました。また同期間において、約41,600名の園児・生徒・教職員にこの活動に参加いただきました。

手洗い習慣普及活動 参加園児・生徒・教職員数

2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
約4,100名	約200名	約1,300名	約2,360名	約2,510名

事業を通じた普及活動

『キレイキレイ』ブランドでは、「大切な誰かを想い、清潔・衛生行動をとる」ことで、人との触れ合いにあふれた社会を目指す」という趣旨で『**キレイのリレー**』プロジェクトに取り組んでいます。

毎日の手洗いがもっと楽しい習慣になるように、世界にたったひとつのオリジナルマイボトルの作製や、教育機関を対象にした活動では、正しい手洗い・うがいの習慣化の促進に取り組んでいます。

また、手についたウイルスやバイ菌を取り除くには30秒以上の手洗いが基本ですが、当社オリジナルの「**おててをアラウータンたいそう**」を通じて、小さい子どもでも正しい手洗い習慣を楽しく身につけられる取り組みも行っています。

2022年、10月15日の「世界手洗いの日」の考えに賛同し、家族で楽しみながら手洗いの習慣化につながる「キレイキレイ グローバル お絵描きマイボトルコンテスト」を実施しました。子どもたちは、自分で描いた絵を使って世界で1つのマイボトルをつくりました。日本を含むアジア地域から、作品の応募をいただきました。



2021年、加古川市庁舎トイレへのオートディスペンサータイプのハンドソープの設置（キレイのリレー）



「キレイキレイグローバルお絵描きマイボトルコンテスト」応募作品

☑ 正しい手洗い・うがい・消毒方法

☑ バイ菌バリアのひみつ

☑ バイ菌とたたかうプロジェクト

☑ 親子でつくろう！キレイキレイマイボトルキャンペーン

☑ 暮らしの衛生情報（Lidea）



地域コミュニティ

全国の事業所所在地、東日本大震災の被災地であり創業者のゆかりの地でもある宮城県石巻市、『キレイキレイ』ハンドソープの生産拠点である香川県坂出市等を主な活動地域とし、幼稚園・保育所や小学校、公共施設等で手洗い習慣普及活動を行っています。特に石巻市では、2012年から東日本大震災の復興支援の一環として、市内の幼稚園・保育所で手洗い習慣の普及活動を推進してきました。また、2019年からは市と包括連携協定を締結し市民を対象とした、オーラルヘルスケア活動に取り組んでいます。



坂出市における手洗い習慣の普及活動の様子



石巻市におけるオーラルヘルスケアリーダー講習会の様子

キレイキレイのまち坂出 プロジェクト

キレイキレイのまち坂出プロジェクト



東日本大震災におけるライオンの取り組み



海外での取り組み

『キレイキレイ』ハンドソープは、2005年より海外展開をはじめ、今ではLion Corporation (Singapore) Pte Ltd、Lion Corporation (Thailand) Ltd、Southern Lion Sdn. Bhd、Lion Corporation (Korea)、獅王日用化工（青島）有限公司、獅王（香港）有限公司、獅王家品股份有限公司で販売しています。ライオングループ各社では、商品の提供とともに、人々の清潔・衛生意識の向上を目指し、清潔・衛生習慣の定着活動を行っています。また、新規参入したバングラデシュでは、JICA（独立行政法人国際協力機構）を通して、子どもたちへの衛生教育支援として教材を提供することで、清潔・衛生の習慣づくりに貢献していきます。



Lion Corporation (Korea) における
「Ai! Kekute」 手洗い教室の様子



Lion Corporation (Thailand) Ltd. における
手洗い習慣定着活動の様子

海外グループでの取り組み

災害時の清潔健康ケア

災害時は、避難所生活や水不足等、衛生上のリスクが高まるため、体を清潔に保ち、健康に気を付けることがとても重要になります。特に、お口の健康は全身の健康につながっており、災害時にはお口の清潔・健康に留意することが大切です。

当社では、こうした災害時のお口や手の清潔・健康ケアや、普段からの備えについてまとめた冊子を発行し、災害時の清潔・健康に関する情報を提供するとともに、各地の防災イベント等に参加し普及活動を行っています。



「災害時の清潔・健康ケア」
パンフレット



「災害時のための清潔&健康ケアBOOK」

＞ 災害時の清潔・健康ケア情報のパンフレットやポスター集はこちらからダウンロードできます。



墨田区防災フェア
(両国エリア)



江戸川区防災訓練
(平井地区)



北はりま
ビジネスフェア
(小野市)

プロの手指衛生管理

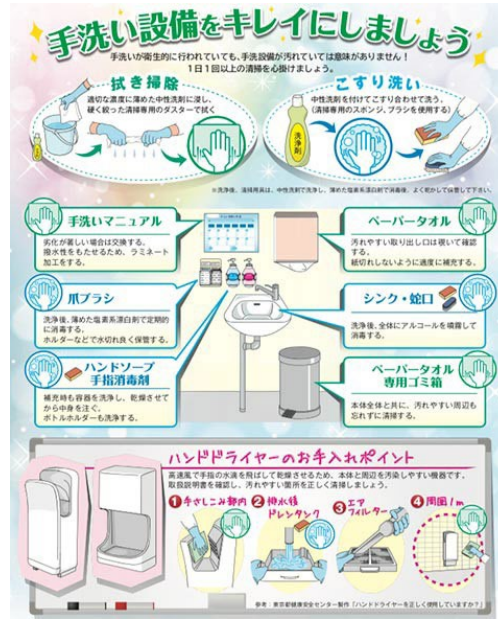
飲食店やホテル、食品工場等業種は異なっていますが、一人ひとりの生活者が安心して食事を楽しんだり、快適な時間を過ごしたりするために「お客様に最高のおもてなしで、最高の思い出を」と願う想いは、プロである飲食店やホテル等に従事する方々にとっても同じです。

ライオンハイジーンは、総合衛生管理企業として、そんなプロの想いを実現するため、科学的知見からプロユース製品や衛生診断等のサポートを通じて「清潔で安全・衛生的な環境づくり」に取り組んでいます。その中でも、食品を取り扱うプロが行う衛生管理の基本は手洗いの徹底にあります。サポートの一環として、年4回発行の「ハイジーンたより*」では手洗いの方法はもちろんのこと、手洗いのタイミングや手洗い設備の管理ポイント、その他プロが知っておくべき衛生管理情報を提供しています。

＊ 衛生管理情報を提供しているハイジーンたより（一例）



手洗いのタイミング
～食品取り扱い者編～



手洗い設備のチェックポイント



衛生的手洗いのポイント



感染症予防～トイレ編～

プロの手指衛生管理を支援（ライオンハイジーン）

清潔・衛生分野の「AI/IoT」に関する取り組み

関連情報

- ☑ クレイクレイとチームラボの取り組み
- ☑ クレイクレイ×ソニー・エクスプローラサイエンスがワークショップを開催
- ☑ ライオン、博報堂アイ・スタジオとIoTデバイス「クレイクレイ“Push Connection”」を共同開発

清潔・衛生分野の「学術・研究」に関する取り組み

🔗 関連情報

- > ニュースリリース：帰宅直後のウイルスの住居内感染リスクを可視化するシミュレーションモデルを開発 [PDF](#)
 - > ニュースリリース：自宅内で知らないうちに手に付着する菌の増殖を 石けん成分配合のハンドソープによる手洗いで抑制！ [PDF](#)
 - > ニュースリリース：2021年「新型コロナウイルス」に対する衛生行動意識調査と手洗い行動観察結果 「こまめな手洗い」は終息後も6割超が実施したいと回答 手洗い自体は不十分で洗い残しあり！ [PDF](#)
 - > ニュースリリース：生活者の約9割が「帰宅後に手を洗う」と回答も、実際は手洗い前にウイルスを広げていることがシミュレーションで判明！ [PDF](#)
 - > ニュースリリース：口腔状態の悪さと風邪の引きやすさは関連している！20～69歳男女 4491名を対象とした調査研究で明らかに [PDF](#)
 - > ニュースリリース：～衛生習慣を“しなければいけない”から“したい”ものへ～街の玄関口で、外出する人の衛生行動を促す実証実験 新宿駅に「キレイの投票所」を期間限定で開所 [PDF](#)
 - > ニュースリリース：コロナ禍での手洗い実態調査 [PDF](#)
 - > ニュースリリース：オフィスでの感染が気になる方に！オフィスで気をつけたい場所・モノ、歯みがき時の対策をご紹介 [PDF](#)
- [🔗 Lidea（「手洗い・うがい・除菌等」）](#)

海外グループでの取り組み

考え方

ライオングループは、商品やサービスの提供だけでなく、啓発活動や情報提供等を通じて「健康で快適な生活習慣づくり」に取り組むことは、社会的な責任であり、当社グループのパーパス(存在意義)「より良い習慣づくりで、人々の毎日に貢献する(ReDesign)」を実践することでもあると考えています。当社グループでは、事業展開しているアジアにおいても「オーラルケア習慣」「清潔・衛生習慣」の普及定着活動を実施し、また、海外グループ会社の事業所所在地や各地域で「環境保全活動」「寄付活動」にも取り組んでいます。実施にあたっては、生活者に寄り添い、現地の行政、流通、学校、歯科専門家や各コミュニティ等とともにパートナーシップを組みながら、活動を推進しています。

海外グループ会社で行っているサステナビリティ活動



- | | | | | | |
|--------------------------|---|--------------------------------------|---|----------------------------------|---|
| Lion Corporation (Korea) | ➤ | 獅王日用化工(青島)有限公司 | ➤ | 獅王(香港)有限公司 | ➤ |
| 獅王家品股份有限公司 | ➤ | Lion Corporation (Singapore) Pte Ltd | ➤ | Lion Corporation (Thailand) Ltd. | ➤ |
| Lion Kallol Limited | ➤ | Southern Lion Sdn. Bhd. | ➤ | PT. Lion Wings | ➤ |

グループ全体の「健康的な生活習慣づくり」



アジアを中心とする各国で開催している「小学生歯みがき大会」



アジアで実施している清潔・衛生習慣への取り組み

Lion Corporation (Singapore) Pte Ltd

✓ オーラルヘルスケア ✓ 清潔衛生習慣 ✓ 寄付活動

オーラルヘルスケア

① National Dental Centre Singaporeと連携した2023年World Oral Health Day Public Forumに出展

2023年5月18日、Lion Corporation (Singapore) Pte Ltd（以下、「シンガポールライオン」という。）は、National Trade Union Congress (NTUC) Business CentreでNational Dental Centre Singapore (NDCS)と連携し、世界口腔保健デーを支援するための公開フォーラムに出展しました。このフォーラムは、公衆口腔衛生教育プログラムの一環として開催され、むし歯や歯周病、欠損歯を人工物で補うといった一般的な歯科の課題が教育テーマとして扱われました。オーラルケアをポジティブな習慣としていただけるように、シンガポールの人々に正しい歯磨きの方法やフロスの使い方、バランスのとれた食事を摂ることの大切さをお伝えしました。

LCSはオーラルケア商品を紹介するブースで来場者に簡単な啓発活動を実施して、400人の参加者全員に、LCSが販売する『Systema』と『KODOMO』ブランドのオーラルケア商品をお渡ししました。



シンガポールライオンの商品を展示し、オーラルケア習慣を促進するブース

② 幼児からシニア対象のオーラルケア啓発活動をT32 Dental Groupと協働して展開

シンガポールライオンは、2023年3月、4月、8月にT32 Dental Groupと協力し、若年層から高齢者までを対象として一連の活動を通じて、国民のオーラルケア意識の向上を図りました。

この活動では、3つのプログラムを展開しました。

- 就学前児童向けには、歯科医に行ったり、幼稚園の敷地で歯みがき教育を実施
- 社会人向けには、口腔の健康についての講演と歯科検診を実施
- 高齢者向けには、健康に関する説明会を実施

シンガポールライオンは、この活動のスポンサーとして、各ターゲット層に合ったブランドの『KODOMO』、『Systema』、『NONIO』のオーラルケア商品を提供しました。1,076名のあらゆる年代の方々が、オーラルケアの重要性を学びました。



Systema システム
The Gum Care Expert **牙龈护理专家**
健康牙龈，给你健康的你!

若不接受治疗，它将演变成牙周病。牙周病不仅将导致牙齿脱落，更与糖尿病及心脏疾病等其他健康问题息息相关¹。

Systema牙龈护理产品系列
采用日本神王的先进的护齿科技，Systema牙龈护理专家，帮助提供卓越的牙龈护理。

牙龈护理对整体健康至关重要。细菌会导致牙龈问题，它可能会增加患上其他疾病的几率，如心脏病和中风等¹。

Systema超纤柔刷毛牙刷能在7天内帮助改善牙龈健康²；而Systema牙龈护理牙膏则能帮助消灭99.9%的细菌³。

什么是牙周病？
牙周病是一种出现在牙周袋的细菌感染。其主要原因是牙菌斑，它是由上亿细菌组成的软粘膜所形成。牙菌斑的毒素将会损害牙龈组织。

牙菌斑是牙周病的早期阶段，若不接受治疗，它将恶化成牙周病。

牙菌斑如何导致牙周病？
牙菌斑会于进食之后在牙齿周围形成，会造成牙龈肿胀、发炎以及刷牙时出血。

Systema

1. 资料来源: Periodontology 2000, Vol. 44, 2007, David W. P. Nadine, B & Timothy C.N., 113-126, Bryan S.M & Robert D. 131-136, Green, M.A. (1994), 3, 129-131
2. 经日本神王Systema超纤柔刷毛牙刷测试，数据在7天帮助改善牙龈健康，改善因人而异。
3. 经日本神王超纤柔刷毛牙刷测试，Systema Gum Care Systema Natural Bristly Mint Natural by Cool Mint Natural Sulfate & ENZ is proven it's helping to kill 99.9% gum problem causing bacteria. Gum problem causing bacteria refers to bacteria inhabiting in the System Porphyromonas gingivalis, Fusobacterium nucleatum, Yelloneila parvula, Actinomyces viscosus.

企業の社員向け歯科検診とオーラルケアを促進する『Systema』の記事

③ Smileworks Dental Clinicに商品を協賛

シンガポールライオンは、Smileworks Dental Clinicと連携して、患者さんが治療後も自宅でオーラルケアが出来るように、オーラルケア習慣の促進をしてきました。この活動は2023年も継続し、7月から10月に来院した大人の患者さん以外にも、就学前3-5才の子どもや6-9才の子どもの患者、そして協業者の444名に、『Systema』と『KODOMO』のオーラルケアセットを提供しました。



『Systema』と『KODOMO』のオーラルケアセット

④ 歯科医院を通じたオーラルヘルスケアの普及活動

シンガポールライオンは、シンガポールの歯科医院のグループである「Thomson Dental Centre」と連携して、来院した患者さんに正しいオーラルヘルスケア習慣を啓発しています。初めて「Thomson Dental Centre」に来院される方に、『KODOMO』と『Systema』（シンガポールライオンが販売している商品）のオーラルケアセットを提供しています。「子ども用オーラルケアセット」「ガムケアセット」のいずれかのセットを、患者さんの年齢やお口の悩みに合わせて、歯科医師からお渡しします。お渡ししたキットを用いて、よいオーラルヘルスケア習慣や歯の磨き方の指導を行います。各セットには、ハブラシ、ハミガキ、洗口液およびオーラルケアリーフレットが含まれています。2023年は「Thomson Dental Centre」の患者さん10,100名にオーラルケアセットを提供しました。



『KODOMO 子ども用オーラルケアセット』

『Systema ガムケアセット』

⑤ 高齢者のための地域歯科健診 National Dental Centre Singapore（NDCS）との共同

NDCSは、高齢者のお口の健康の重要性に対する意識を高めることを目的に歯科健診コミュニティを設立しました。この健診では、義歯の適切なお手入れについて指導し、痛みを和らげたり、お口の機能を維持・回復するためのプログラムを提供しています。このプログラムは、新型コロナウイルス感染の拡大の影響により一時中断され、その後2020年末に再開されました。シンガポールライオンは、2023年5月から11月にかけて、この地域歯科健診に参加した100名の高齢者の参加者に『Systema』ハミガキを配布しました。

⑥ National Dental Centre of Singaporeと連携したシンガポールヘルス会議2022年への参加

2022年7月25日、2022年 National Dental Centre of Singapore は25周年を迎えました。NDCSは設立25周年を記念して、「NDCS 25th Anniversary～過去・現在・未来の架け橋～」と題したオンラインイベントを開催しました。このイベントでは、歯科医と専門家が集まり、講演と口腔ケアに関する最新の商品を紹介するバーチャル展示会が開かれました。Lion Corporation (Singapore) Pte Ltd（以下、「シンガポールライオン」という。）は、参加者500名全員に『Systema』と『NONIO』の商品を含むオーラルケアセットを提供しました。また、オンラインイベント画面や、デジタルプログラム冊子でも、『Systema』と『NONIO』ブランドの商品紹介を1ページにわたり行い、ブランドロゴを掲載してブランド認知の拡大を図りました。



『Systema』全面広告とロゴを掲載したオンラインのプログラム冊子

⑦ 高齢者向けオーラルヘルスケア啓発活動

2022年8月22日、NDCS（National Dental Center Singapore）はNational Library Board（NLB）と共同で、シンガポールの高齢者の口腔環境を改善する8020キャンペーン（80才で20本の歯を残すこと）の一環として、オーラルケアセミナーをジュロン地域の図書館で開催し、50歳以上の中高年参加者にオーラルケアのヒントや知識を提供しました。シンガポールライオンは、このイベントをサポートし、質疑応答セッションの中で、賞を獲得した参加者への景品として、『Systema』と『NONIO』ブランドの商品を含むライオンギフトセットと共に、参加者40名にも配布する商品を提供しました。セミナー終了後の参加者アンケートでは、「このセッションが魅力的で洞察に満ちたものだった。」と大変好評を得ました。

⑧ 健康促進局共同 放課後オーラルケアプログラム

シンガポールの健康促進局は、幼少期から実践するオーラルケアの重要性を教育することを目的に、3～5歳の保育園と幼稚園の園児を対象とした「放課後オーラルケアプログラム」を1年間実施しました。このプログラムでは、園の敷地内で歯科スタッフが歯科健診を実施するとともに、オーラルケアの重要性を伝えます。シンガポールライオンは2022年6月までの期間中、プログラムに参加した子どもたちに「KODOMO ハミガキ」とリーフレット60,000セットを配布し、プログラムを協賛しました。

⑨ 健康促進局共同 放課後オーラルケアプログラム

2021年8月、健康促進局は、幼少期から実践するオーラルケアの重要性を教育することを目的に、3～5歳の保育園と幼稚園の園児を対象とした「放課後オーラルケアプログラム」(1年間継続)を開始しました。このプログラムでは、園の敷地内で歯科スタッフが歯科健診を実施するとともに、オーラルケアの重要性を伝えます。シンガポールライオンは、プログラム終了後に子供たちに配布される『KODOMO ハミガキ』とリーフレット60,000セットを協賛しました。



「Systema」と「KODOMO」のオーラルケアセット

⑩ PAP Community Foundation (PCF) Sparkletots Preschoolと共同した教育イベントに協賛

毎年3月22日は、国連が定めた「世界水の日」です。PCF* Sparkletots Preschoolは、2021年3月22日の「世界水の日」に、子どもたちに歯みがき中に節水する等、日常生活から水保全することの重要性を説明しました。シンガポールライオンは、『KODOMO ハミガキ』と『KODOMO ハミガキ』のセット品を5～6歳の園児600名に協賛することで、このイベントをサポートしました。



親に配布されたニュースレター

* 1986年にシンガポール人民行動党 (PAP) によって設立された慈善団体であり、教育、福祉、コミュニティサービスの提供を通じて、多民族、公正で包摂的な社会の育成に取り組んでいます。

⑪ シンガポール歯科協会のオーラルケア意識の向上に向けたキャンペーンを支援

2021年3月、シンガポール歯科協会は、オーラルケア意識を高め、治療の誤解を正すことを目的に、オンラインで一般の生活者を対象に統合コミュニケーションキャンペーンイベントを開催しました。このキャンペーンは以下の3部で構成されています。

シンガポールライオンは第3部に招待され、22名のオピニオンリーダーをサポートし、キャンペーンの勝者は60シンガポールドル相当の『Systema』と『KODOMO』製品を受け取りました。



キャンペーンカード

1部 シンガポール人のオーラルケア習慣について調査：参加者（回答者）500名

2部 22名のオピニオンリーダーは自身のオーラルケア経験をInstagramに、#toothtruthsというハッシュタグをつけて投稿

3部 22名のオピニオンリーダーは、Instagramのアカウントにオーラルケア経験を投稿して、投票してもらう。

⑫ Singapore Oral Health Therapy Congress

Singapore Oral Health Therapy Congressは、毎年行われる歯科専門家の会議で、講演者は、口腔衛生にとどまらず、ウェルビーイング（全身健康）や子供の管理などのトピックについて幅広く話し合います。

2021年10月17、24日 Association for Oral Health Therapists (Singapore)の主催によりオンライン会議が開催され、約300名の歯科専門家が参加しました。

主催者によりソーシャルディスタンスを守るため商品配布が中止されたため、シンガポールライオンはこの会議を金銭的に支援しました。



イベントポスター



オンラインで開催されたイベント

【特別共同企画】

Actions for Handwashing Day 2023



2023年8月10日から16日にかけて、「世界手洗いの日」に向けて、正しい手洗の洗い方を楽しく学んでもらう活動を、就学前の教育機関であるCarpe Diem Child Care Centre & Preschool やSuperland Pre-schoolに通う子どもたち663名に実施しました。この活動では、クイズを交えて手洗いの大切さをシンガポールライオンがレクチャーし、ボトルに貼るステッカーを子どもたちが自らデザインをする過程において、手洗いの大切を学びました。



『Kirei Kirei』Handwashing Day 2023の様子

① Manulifeと提携して正しい衛生習慣を啓発

Free Bee SG*は、保険会社のManulifeと提携して、手足口病等の感染症に対する「予防と保護」プログラムを推進しています。2019年4月に行われたこのプログラムでは、シンガポールの幼稚園に、手足口病等に対する保険の適用範囲について情報発信しました。参加者には、『Kirei Kirei (キレイキレイ)』商品等が入ったグッズバッグを差し上げており、1,100点が幼い子どもがいるご家庭に届けられました。プログラムの期間中、シンガポールライオンは、ライオンのマスコットとともに幼稚園を訪問し、現地で販売する『Kirei Kirei』ハンドソープを使用して、正しい衛生習慣を啓発しました。

* Free Bee SGは、妊娠や育児に関する情報や景品等を入手できる非営利のオンラインコミュニティです。



イベントのロゴ承認を促すポスター



Free Bee SGのFacebookアカウントで『Kirei Kirei』商品を宣伝



衛生関連のQ&Aを園児向けに実施



ライオンのマスコットが幼稚園を訪問

寄付活動

シンガポールライオンは、企業の社会的責任として、自社で販売する衛生用品の現物寄付活動等、社会貢献活動を積極的に行いました。

オンラインイベントを通じた寄付活動

Centre for Domestic Employees (CDE) 共同 家事労働者を祝うオンラインイベント

活動日時	2021年6月
社外協力者	•全国労働組合会議 National Trades Union Congress (NTUC) •シンガポールの非政府組織Centre for Domestic Employees (CDE)
寄付内容	『Systema』、『休足時間』
活動の詳細	シンガポールの家事労働者（家事代行や子供のナニーなど）へ感謝を示すことを目的に、バーチャルライブショー「May Day Domestic Employees Celebration 2021」は、CDE（NTUCによって設立された非政府組織）によってライブストリーミングされました。250名の家事労働者がプログラムに参加し、シンガポールライオンは、製品を提供しイベントをサポートしました。



オンラインイベント中に投影されたスポンサーへの感謝の意を示すスライド
（『Systema』と『休足時間』のロゴ搭載）

新型コロナウイルス感染症における寄付活動

医療従事者を支援するために歯科専門グループとの共同

活動日時	2022年11月
社外協力者	Mount Elizabeth Medical Centre
寄付内容	『NONIO』洗口液が入ったオーラルケア商品 750セット
活動の詳細	シンガポールライオンと歯科専門グループは共同して、Mount Elizabeth Medical Centreに勤める750名の医療従事者へ感謝の気持ち込めて、オーラルケアセットを贈りました。



医療従事者に提供したオーラルケアキット

Lion Corporation (Thailand) Ltd.

▼ オーラルヘルスケア ▼ 清潔衛生習慣 ▼ 環境保全活動 ▼ 寄付活動

オーラルヘルスケア

① 行政と連携した子どものむし歯予防活動

Lion Corporation (Thailand) Ltd. (以下、「タイライオン」という。)は、2023年7月6日と13日、8月10日と31日にチョンブリ県レムチャバン市と協働して4つのプレスクール(Laem Chabang School District 1、Laem Chabang School District 2、Wat Nongkha School、Watsukreebunaram school)で、2才から5才の乳幼児を対象に、むし歯予防のためのフッソ塗布を実施しました。タイライオンのサステナビリティチームは、タイライオンが販売する『KODOMO』ブランドの商品を使用して、子どもたちに正しい歯みがき指導を行いました。ライオンちゃんも登場して、子どもたちは喜んで学んでくれました。



ライオンちゃんが楽しく歯みがき指導




模型などをつかって分かり易く指導する風景



屋外教室で歯磨き指導の様子

② 地方の保健所と連携した高齢者のお口の機能改善に向けた取り組み

タイ北部のプレー県は、高齢化が進んでいる地方のひとつです。タイライオンは2018年からプレー県の保健所と連携して、高齢者の喉のつかえ(むせ)を減らし、嚙む力を高め、ドライマウスを改善することで、QOL(生活の質)を高める活動に取り組んでいます。この活動は、2016年の「ライオン・オーラル・ヘルスアワード」で歯科専門家により紹介されました。保健所の歯科医師は定期的に高齢者が集まる地域のコミュニティで、オーラルケアに関する講演を行います。また、お口の機能が低下するのを防ぎ、「お口の元気度」を保持、増進することを目的に、ライオンにより設立された(公財)ライオン歯科衛生研究所(LDH)  が開発した「健口美」体操(お口の体操)を取り入れています。体操を始めてから6ヵ月もすると、多くの参加者に効果が現れ、喉のつかえやドライマウスが改善されました。タイライオンは多くの高齢者が実践できるように、「健口美」体操のパンフレットと掲示板を提供しています。2023年9月26日には、タイライオンは「健康美」体操を、高齢者の方に向けて実施しました。50名の高齢者が参加しました。タイライオンでは、行政と連携しながらタイの人々のオーラルケアの改善に継続して貢献していきます。



「健口美」体操を体験した参加者の様子

③ 「ライオン・オーラル・ヘルスアワード」

2022年7月22日、「ライオン・オーラル・ヘルスアワード2022」がTK palace & convention Bangkokで開催されました。タイライオンは、タイの保健省と連携し、2009年からタイで「予防歯科」に役立つ研究や活動をしている人の助成、支援をしています。タイライオンは、2022年度の「ライオン・オーラル・ヘルスアワード」として、歯科医師と歯科看護師に6つの賞(1-3位と敢闘賞3名)を授与しました。このセミナーには、歯科医師や歯科看護師等180名が参加し、Dr. Paiboonから高齢者向けオーラルケアの講演をうけました。



表彰式の様子

④ 政府の病院・保健センターや販売店と連携した取り組み

乳歯はゆくゆく生え変わるから、大人の歯より軽視されがちです。しかし、お口の健康は将来の全身健康に影響をおよぼすといわれており、小さいころからオーラルケアを実践することが大切です。

タイライオンは正しいオーラルケアの普及と「予防歯科^{*}」の浸透・定着に向け、政府の病院・保健センターと連携し、歯科健診・むし歯処置・歯みがき指導等のオーラルヘルス活動を実施しています。地方の学校で歯科健診を行い、児童にむし歯が見つかった場合「スマート・テクニック」とよばれる処置を歯科医師が行います。

2018年からは、活動を実施する地域にある販売店と共同で、2歳から5歳の子どもたちを対象に、『KODOMO』ブランドを活用した劇により、正しい歯みがきの仕方を伝えています。タイライオンは連携した販売店でしか利用できないクーポンを配布し、クーポンをもらった子どもたちは、その販売店にクーポンを持参すると、タイライオンの商品が通常より安く購入できます。これにより自宅でもしっかり歯みがきを継続してできるようになります。

この活動は、2022年7月26日にBanbanramung school、9月2日にLaemchabangで行われ、65名の子どもたちと10名の歯科医や歯科助手が参加しました。タイライオンでは、他の地方にも活動を広げ、タイの人々にお口の健康を啓発していきます。



歯科医師が関係者にレクチャーする様子



歯科医師や歯科助手による治療の様子



* ライオンが海外グループ会社で推進している「予防歯科」の考え方は、歯科専門家、流通、ライオンの3者が連携した取り組みです。歯科専門家と一緒にライオンは、歯みがきの実践的な指導やオーラルケア情報の発信により、生活者のオーラルケアに対する理解や関心を高めてもらうよう努めています。加えて、ライオングループでは店頭やその他市場を通じて、一人ひとりに合った商品の提供によるオーラルケア習慣の実践を推進しています。

⑤ 妊娠期の従業員に向けたオーラルケア指導

一般的に、妊娠期は、女性ホルモンが増えることで唾液分泌量が減少し、むし歯や歯周病等の口腔リスクが高まるといわれています。タイライオンでは、妊娠期の従業員を対象に、妊娠期の健康管理やオーラルケアの重要性を伝えるセミナーを行っています。健康管理については、タイライオン医務室の看護師と医師が指導し、妊婦に必要な栄養摂取等について指導を行いました。妊娠期の母親のお口の状態は、生まれてくる子どもにも影響することを伝え、正しいオーラルケアの方法について指導を行いました。

2020年は、もうすぐ母親になる妊婦と、産後間もない母親10名の従業員がセミナーに参加しました。



タイライオンスタッフによる
歯みがき指導



指導の後、実際に歯磨きをする
参加者



セミナー参加者との記念写真

⑥ タイ南部の行政と連携した、むし歯削減への取り組み

タイ南部では、子どものむし歯が大きな問題となっています。タイライオンでは、2018年からタイ南部パッターニ県の公衆衛生に取り組む保健所と連携して、むし歯を減らす取り組みを現地でくらす5家族とともに開始しました。この地域の課題は、親子ともにオーラルケアに関する教育ができていないことや、むし歯に対する正しいケア方法を知らないことです。この活動は、2017年の「ライオン・オーラル・ヘルスアワード」で講演した歯科医師により紹介された、家族全員で取り組む「予防歯科」です。

参加する家族は、家で正しいセルフケアを行い、歯科医院に行って定期的にメンテナンスケアを受けます。また、医師はスマートフォンでお口の中を記録し、お口の健康状態を家族にフィードバックしています。

タイライオンはこの活動を通じて、家族にオーラルケア習慣を定着させ、むし歯を削減し、地域の課題解決に貢献していきます。



歯科医院で定期的メンテナンス



スマートフォンでお口の状態を記録

⑦ 政府と連携したオーラルヘルスケア普及活動

タイ政府は、タイ国民の健康意識を高めるため、2012年より毎年「ヘルスフェア」を実施しています。2018年は、チョンブリー県シーラーチャー郡レムチャバン地区のAo Udomコミュニティセンターで実施されました。「ヘルスフェア」では、地域のコミュニティセンターで、医療機関、健康グッズ販売業者等がブースを出展し、ボランティアの医師や看護師が参加者に健康診断を行い、薬を処方します。タイライオンもブースを出展し、「健口美」体操を紹介して、50歳以上の参加者と一緒に実演しました。参加者にはタイライオンが販売する高齢者向けのオーラルケアブランド「GoodAge」と「SALZ」の商品が渡されました。2018年は、約1,000名が「ヘルスフェア」に参加しました。



「健口美」体操をする参加者

【特別共同企画】

Actions for Handwashing Day 2023



2023年10月15日、タイライオンはSuan Luang RAMA IX（ラーマ9世公園）にてGlobal Hand Washing Day Runを開催し、1,000名のランナーが参加しました。このイベントは、世界手洗いの日に賛同し、「手洗いは命を救う」をテーマに、タイの人々の手洗い習慣の普及と定着を目的に行いました。



ランニングイベントでの様子

またイベントとは別に、8月1日～9月30日まで「お絵描きマイボトルコンテスト」を実施しました。

タイライオンのE-commerceサイトから『KireiKirei』ボトルを購入して頂いた方は、Facebookのファンページからマイボトルのお絵かき用ステッカーをダウンロードができる仕組みです。Facebookにお絵描きをしたステッカーをアップロードして頂き、10月にコンテストの結果がFacebookのサイトとGlobal Hand Washing Day Runで発表されます。このコンテストの評価基準を以下のように設定しました。

- 手描き、コラージュ、またはコンピュータプログラミングのデコレーション
- お絵描きの内容が、夢や希望、情緒性などが豊かに表現されていること
- 技術レベルは問いません

このお絵描きコンテストに、約600名の子どもたちが参加し、手洗いの重要性を楽しく学んでくれました。

① 小学校で「健康で清潔な生活習慣づくり」を指導

2023年1月30日、タイライオンは Chulalongkorn University Demonstration Secondary Schoolの2年生を対象に課外授業で、歯磨きと手洗い方法をレクチャーしました。285名の児童がこのイベントに参加しました。



ライオンちゃんと一緒に楽しく学びながら喜ぶ子どもたち

② 小学校で「Happy Life Happy Home」プログラムを実施

タイライオンは、小学校で身体を健康で清潔に保つ方法と家を清潔で快適に保つ方法を啓発するプログラム「Happy Life Happy Home」を実施しています。このプログラムは Happy Life (歯みがき、手洗い、洗顔、シャワー浴) と Happy Home (お洗濯、食器洗い、床掃除) で構成され、タイライオン製品の使用を通じて「健康、快適、清潔・衛生」に対する意識を高めることを目的としています。

2023年7月24日、バンコクの Wat Dokmai School とシーラーチャーの Thai Kasikorn Songkro School で小学校4年生約100名を対象に、歯磨き・手洗いだけでなく、大切な衣類を手洗いの洗濯方法など指導しました。

子どもたちは、とても興味津々で参加し、自宅でも習ったことを実践してくれています。



子どもたちに指導している様子



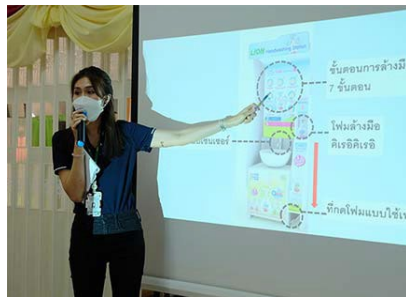
歯みがき指導や洗濯指導をしている様子

③ LION 手洗いステーション設置

タイライオンのコミットメントである「社会に善を築き、タイの人々により健康をもたらす」に従い、手洗い場を提供し、地域の人々に清潔な手の洗い方を啓発することで、衛生を促進しています。2022年1月28日Yannawa district's elderly school（バンコク）、5月18日Ban Rai Nueng Elderly School（シーラーチャー）、5月20日Thai Kasikorn Songkro School（シーラーチャー）、6月6日Wat Dok Mai School（バンコク）で、「キレイキレイ」手洗いステーションを設置して、提供したハンドソープやハンドソープディスペンサー商品とともに、手洗い啓発用ポスターを貼って「正しい手洗い」の浸透を図りました。小学校1-2年生や50才以上の中高年の方々は、ブラックライトで手の汚れや洗い残した箇所を簡単にわかるようになります。手洗いステーションができたことにより、みんなが使用するものを触った後でも、直ぐに手を洗えるようになりました。この活動には622名が参加しました。



設置した手洗いステーションの前で、「キレイキレイ」ハンドソープをもつスタッフたち



Yannawa district's elderly school



Ban Rai Nueng Elderly School



Wat Dokmai School



Thai Kasikorn Songkrow School

④ 官民連携プロジェクト

タイライオンは、タイ政府の施策である「公共・民間の連携プロジェクト」への貢献に取り組んでいます。

2019年には、ラムプーン県（北部）とサハグループ*のフェアで、オーラルケアと正しい手洗い方法の普及啓発活動が開催され、タイライオンは、「全身健康のために、健康なお口の状態と清潔衛生の重要性」をテーマにブースを出展しました。

ラムプーン県のサハグループ工業団地で行われた活動では、地元の学生に「Kirei Kirei (キレイキレイ)」の紹介と正しい手洗い方法を指導し、高齢者の方々には「健口美」体操（お口の体操）を実演しました。

また、サハグループフェアでは、毎年、サハグループのグループ企業が集まり各社の「公共・民間連携プロジェクト」に関するブースを設置しています。2019年は、バンコクのヤーンナーワー区にあるシニアクラブとチョンブリー県シーラーチャー郡のライ・ヌンコミュニティセンターの高齢者を招待し、ブースで正しい歯みがき方法の指導や「健口美」体操を実践しました。合計で約360名が参加しました。

* タイライオンはライオン（株）とサハグループの合併会社です。



ラムプーン県のサハグループ工業団地のブースで「Kirei Kirei」の紹介と正しい手洗い方法を指導



ラムプーン県のサハグループ工業団地のブースで地元の学生に正しい歯みがき方法を指導



サハグループフェアで「健口美」体操を実践する様子



歯みがき指導の様子

環境保全活動

① タイライオンコミュニティ周辺地域に向けた環境啓発

2022年11月25日、タイライオンの近隣に暮らす42名のYannawa区域の高齢者向けに再利用・リサイクル可能な物品の分別方法を啓発しました。タイライオンでは、従業員が再利用可能なごみを持参し、正しい方法で捨てた場合、ポイントを付与する制度を設け、エコの習慣化を促進しています。



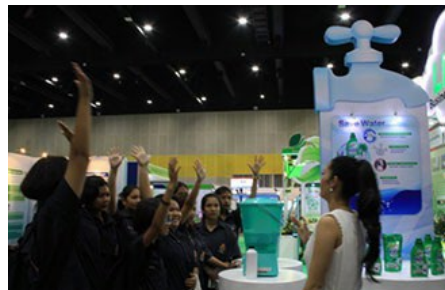
ごみの分別に関してレクチャーする様子

② 環境フェア「エコプロダクツ展」で歯みがき指導実施

タイライオンは、「インターナショナル エコプロダクツ展2016」でブースを出展しました。人間は環境の一部であり、「人間が健康であれば自然環境に調和できる」というコンセプトで、タイライオンやライオン(株) (日本)の環境への取り組みをブースで展示し紹介しました。また、出展ブースのコンセプトに合わせ、「全身の健康はお口の健康から始まる」ことを伝えるため、イベントのメインステージで、会場を訪れた小学生を対象に歯みがき指導を行いました。



メインステージで小学生に歯みがき指導



ブースの様子

寄付活動

タイライオンは、企業の社会的責任と衛生用品製造会社として、自社で販売する衛生用品の現物寄付活動等、社会貢献活動を積極的に行いました。

活動1 インフルエンザ予防のための手洗い洗面台を寄付

活動時期	2023年3月2日
活動場所	バンコク: Wat Dokmai School, Wat Pariwat School, Wat Chonglom School, Wat Chong Nonsi School, Wat Khlong Phum School, Wat Klongmai School シーラーチャー: Wat Chukkacher school, Laem Chabang School District 1, Thunsuklapittaya School, Wat Phrapratanporn
寄付内容	洗面台ボウルと『KireiKirei』ハンドソープの提供
活動の詳細	新型コロナウイルス感染症は収束しつつありますが、依然としてインフルエンザなどの感染症は存在します。清潔衛生習慣の意識を高めるため、タイライオンのバンコクオフィスとシーラーチャー工場の近隣にある小学校に、児童が手洗いをする洗面台ボウルと『KireiKirei』ハンドソープを提供しました。



寄付活動の様子

活動2 高齢者のオーラルケアを支援

活動時期	2022年7月14日、8月18日
活動場所	Thian Fah Foundation Hospital と Weshare foundation
寄付内容	ダイエットフードタブレット『Ascor-10』
活動の詳細	タイライオンのマーケティングチームが「健口美」をテーマに、エクササイズを指導し、ダイエットフードタブレットの『Ascor-10』を高齢者に提供



活動3 バンコクで生理用ナプキンの寄付

活動時期	2022年8月4日
活動場所	Wat Dokmai School
寄付内容	生理用ナプキンを寄付 (約5,000パーツ)
活動の詳細	バンコクでは、学生に無償で生理用ナプキンを提供する政策があり、Wat Dokmai Schoolに生理用ナプキンを提供し学生を支援



活動4 犬や猫たちへの支援

活動時期	2022年9月1日、10月27日、11月3日
活動場所	Laemchabang city municipality, Wat Dokmai Temple, Soi Dog Foundation
寄付内容	「Pet Care」ペット用シャンプー、おていれ用品
活動の詳細	捨てられたり、迷子になった犬や猫たちのお手入れを、タイライオンが販売する「Pet Care」商品を提供することで支援



Laemchabang city municipality



Wat Dokmai Temple



Soi Dog Foundation

活動5 病院修復の支援

活動時期	2022年10月11日
活動場所	King Chulalongkorn Memorial Hospital
寄付内容	100万バーツ
活動の詳細	サハグループが2022年に建設したTiam-Saipin Chokuwattana buildingの修理費用をタイライオンがタイ赤十字通じて支援



赤十字社に支援金を贈呈するサハグループの幹部たち

新型コロナウイルス感染症における寄付活動

活動1 コロナ収容施設に入居している方々への支援

活動時期	2022年3月7日
活動場所	Wat Dokmai SchoolのCOVID-19に罹患して病院へ入れなかった患者の収容施設
寄付内容	<ul style="list-style-type: none">・「SALZ」ハブラシとハミガキ・「植物物語」液体ソープ・「108」粉洗剤・「キレイキレイ」アルコールジェルとハンドソープ (総額6,700バーツ)
活動の詳細	COVID-19の患者100名にオーラルケアや手洗いグッズなどを提供



Wat Dokmai School

Southern Lion Sdn. Bhd.

▼ オーラルヘルスケア ▼ 清潔衛生習慣 ▼ 環境保全活動 ▼ 寄付活動

オーラルヘルスケア

① Klang Valley市内の歯科医院にオーラルケアブランド『Systema』『KODOMO』の推奨

Klang Valley市内の歯科医院では、Southern Lion Sdn. Bhd. (以下、「サザンライオン」という。)のオーラルケアブランドを推奨してもらっています。歯科医院を訪れる大人の方には『Systema』を子ども向けには『KODOMO』のサンプルと教育用パンフレットをお渡しし、楽しく学べる啓発活動を提供しています。2023年は年間で4,123名の方々が参加してくれました。



歯科医院やイベントで楽しく歯みがき習慣を学ぶ子どもたち

② 小児歯科の専門家との連携により『KODOMO』ブランドの認知拡大

2023年3月9日から11日にかけて、Berjaya Times Square Hotelでサザンライオンは小児歯科の専門家と歯科医療関係者に向けて、サザンライオンが販売する子供向けオーラルケアブランド『KODOMO』を紹介し、強固な関係を構築しました。



『KODOMO』ブランド展示と当日の広告

③ Malaysia Society of Periodontology (MSP) と連携した『Systema』 Gum Health Day campaignを展開

2023年5月12日、クアラルンプールの Aloft Sentral にてサザンライオンは Malaysia Society of Periodontology (MSP) と連携して、歯茎のケアの重要性を伝えるオーラルケアキャンペーンを実施しました。25才から45才までの現役世代を中心に100名の方々がPRイベントに参加して頂きました。主要モールで3回ロードショーを行い、50,000人にアプローチしました。

④ 『Fresh & White Raya』 Roving campaignを実施

2023年のラマダン断食期間(5月)にペラ州セランゴールで、オーラルケア意識を高めるプログラムを企画しました。マレーシアの低から中所得層のご家庭を対象とし、人々が集まるスポーツ広場やフードコートにてサンプリングを実施し、1,000人が参加しました。

⑤ 歯科医療教育機関との活動を通じたブランド推奨の促進

サザンライオンは、2023年年間を通じて、Universiti Sains Islam Malaysia (USIM)、マラヤ大学、マレーシア歯科医師会 (MDA)、Nicotine Addiction Research, Collaboration Center (NARCC) などの歯科学会や協会と協力して、様々な啓発活動を実施しました。これらの活動には合計2,420人が参加し、啓発パンフレットや製品サンプルが配布されました。



「Systema」, 「ZACT」ブランド展示の様子


⑥ マレーシア歯科学会 (MDA) 主催「第30回 MDA SCATE Malaysian Dental Association Scientific Convention and Trade Exhibition」に参加

2023年2月17日から19日にかけて、マレーシア歯科学会が主催する展示会「第30回MDA SCATE Malaysian Dental Association Scientific Convention and Trade Exhibition」が開催され、サザンライオンも参加しました。

マレーシアの人々にオーラルケア意識を高めてもらい、オーラルケア習慣を浸透・定着させることは大変大事なことです。1,592名の参加者と歯科専門家が展示会を訪れました。これらの展示会に参加することは、サザンライオンにとって素晴らしい機会です。今後もサザンライオンは歯科専門家との連携を強化し、「予防歯科」活動を促進していきます。

⑦ マレーシアの幼稚園・小学校にて「ライオン衛生プログラム」を実施

「ライオン衛生プログラム」は1998年に開始された、サザンライオンが実施しているよいオーラルケア習慣の普及定着プログラムで、年間を通してマレーシア全土の幼稚園と小学校で行われています。このプログラムの目的は、健康なお口の状態が全身の健康につながることを生活者に啓発することと、子どもたちのオーラルケア意識を向上することです。このプログラムは、4歳から12歳の子どもたちを対象としています。なぜならライオンはよい歯みがき習慣は、幼少期に身につくものと信じているからです。

コンテンツは、ライオンにより設立された(公財)ライオン歯科衛生研究所(LDH)  が作成し、何年もかけて、サザンライオンのチームがこのプログラムを、現地に即したものに作り上げてきました。また、長年にわたって、マレーシア各地の政府の歯科医院やマレーシア歯科医師会(MDTA)と連携したため、このプログラムはマレーシアの人々に正しい歯みがき方法を伝える最適なコンテンツになったと確信しています。2021年からは、手洗い啓発もプログラムに加え、「ライオン衛生プログラム」と名称変更しました。

プログラムは子どもたちが、お互いに楽しめるように工夫しています。プログラム内容は、紙芝居、スライド、歯みがき実践指導、よい歯みがき習慣のコツ、基本的な手洗いステップ、などです。また、衛生全般について関心を持てるよう、このプログラムに参加した子どもたち全員にハブラシ、ハミガキが入った「KODOMO」セットをプレゼントしています。

この活動は、2023年3月から12月にかけて実施され、75,837名が参加しました。1998年にプログラムを開始して以来、マレーシア全土で累計約122万名を超える子どもたちがこのプログラムに参加しています。



歯みがき指導の様子

⑧ オンラインによる「ライオン衛生プログラム」

昨今のコロナ禍における感染予防対策として、オンラインによる歯磨きと手洗い啓発プログラムを開発しました。4-6歳の幼稚園児を対象として遠隔で幼稚園とつながり、園児たちと対話と通じて歯磨きのブラッシング指導や正しい手洗い方法を楽しく伝えました。2023年はコンテンツ内容をパワーアップして、オンラインでも子どもたちにわかりやすい内容に改良しました。



オンラインによる教材

⑨ 『KODOMO』ブランドチームによるオーラルケア啓発

サザンライオンのマーケティング部門『KODOMO』ブランドチームは、2023年5月から6月の間、国立のプレスクールで『KODOMO』ブランドのオーラルケアグッズを3-6才の園児に対して配布し、子どもたちに小さいころから歯みがきを習慣化することの大切さを伝えました。この活動は、先生に対してもオンラインでワークショップを実施します。ワークショップを受講した先生は、学校でサザンライオンが提供する「KODOMOワークブック」、「ティーチャーズガイド」、ポスター、子どもたちに渡すフォルダー、サンプル、資料を活用して5日間歯みがき指導プログラムを実施します。プログラム終了後には報告書を提出していただきます。25,000名の子ども達がプログラムに参加し、先生からオーラルケアを学びました。



『KODOMO』ブランドのグッズを手にした子どもたちの集合写真

⑩ 中産階級に向けた歯ぐきチェック

サザンライオンは2023年10月から11月にかけて、セランゴールおよびペナン州で35才から49才までの中産階級の家族を対象に、歯ぐきチェックと、『Systema』のサンプルと啓発リーフレットを配布しました。200名の家族が参加しました。

⑪ サザンライオン「オーラルヘルスデー」

「予防歯科*」を推進する取り組みの一環として、サザンライオンは2018年から年に1回、口腔衛生と歯周病の予防とその重要性について、従業員の意識を高める目的で、「オーラルヘルスデー」を開催しています。2020年からのコロナ禍においては、感染拡大防止の観点から活動を延期していました。2023年12月4日と5日の2日間にわたり、サザンライオンのジョホール・バル本社にて、KP Kota Tinggiのもと、「オーラルヘルスデー」は3年ぶりに実施され、歯科医師による無料の歯科健診が行われました。歯科健診には157名の従業員が参加しました。

サザンライオンは、この活動を今後も継続し、全従業員のオーラルヘルスケア習慣に対する意識を高めていく予定です。また、従業員の健康促進に寄与していきます。

* ライオンが海外グループ会社で推進している「予防歯科」の考え方は、歯科専門家、流通、ライオンの3者が連携した取り組みです。歯科専門家と一緒にライオンは、歯みがきの実践的な指導やオーラルケア情報の発信により、生活者のオーラルケアに対する理解や関心を高めてもらうよう努めています。加えて、ライオングループでは店頭やその他市場を通じて、一人ひとりに合った商品の提供によるオーラルケア習慣の実践を推進しています。



オーラルヘルスデーを従業員に知らせるバナー



歯科医師による歯科健診

⑫ 「Malaysian Dental Therapists' Scientific Conference (MDTSC)」に参加

2022年6月24日～25日、「Malaysian Dental Therapists' Scientific Conference (MDTSC)」がSummit Hotel Subang USJで開催されました。サザンライオンは、マレーシア歯科医師会 (MDTA) との関係を強化し、「Systema」ブランドの商品紹介を目的に、主要スポンサーのひとつとして参加しました。このカンファレンスは、2年に一度開催されており、マレーシア全土の歯科関係者が集まるため、「ライオンオーラルヘルスケアの普及活動(上記、オーラルヘルスケア⑦)」の認知度を高め、MDTAとの共同活動を増やすよい機会となりました。カンファレンスには約550名のデンタルセラピストが参加しました。



「Systema」ブースの様子

【特別共同企画】

Actions for Handwashing Day 2023



2023年8月から9月にかけて、小学1年生から4年生までを対象に18校の小学校で『キレイキレイグローバルお絵描きマイボトルコンテスト』を行いました。このコンテストの案内は、学校の先生や、『KireiKirei』のwebサイト、Facebookで行われました。

エントリーした小学校宛てに『KireiKirei』のお絵描き用ステッカーが配布されると、児童は担任の先生に自分のステッカーに描いた作品を提出します。各クラスで5名が表彰にエントリーされます。各学校で5つの作品が最終審査に提出され、サザンライオンは優秀賞3名を表彰します。

コンテストの審査基準は、以下のようになっています。

- 手洗いのテーマと関連性があるか（30%）
- 作品から、創造性が感じられるか（30%）
- 作品はきちんとしているか（30%）
- 作品全体としてのインパクトがあるか(10%)

このコンテストは、9,800名のエントリーの中から、1,041作品の提出を頂き盛況のうちに終了しました。

① ジョホール州保健省と協働した乳幼児向けプログラム

2023年10月24日、サザンライオンはジョホール州歯科局 (Batu Pahat) に招待され、若い親子を対象としたプログラムに協力しました。サザンライオンは、音楽とダンスを交えた歯磨き活動と手洗いの実演を行いました。この活動には、850名の乳幼児とその両親が参加しました。



音楽やダンスを交えて活動する様子

② 清潔な習慣づくりの認知拡大を政府が運営する歯科医院や教育機関と協働実施

2023年5月19日、サザンライオンは、衛生意識を高める目的でKota Tinggi Dental Clinic、Bandar Mas Dental Clinic、MARA Professional Collegeと連携し、コタティンギのKempas Menang コミュニティホールにて啓発活動を実施しました。対象年齢は4才から40才までと幅広い世代としました。歯科に関わるクイズをしてから歯磨きを実践し、手洗い講習のあとに手洗いの実演、シャンプーを体験、爪切りのケアなどを行い、衛生的に暮らすための基本的な習慣づくりを実施しました。100名の方々が楽しみながら参加し、基本的な衛生習慣について学びました。



シャンプー実践の様子



歯科検診を受けている様子



正しい歯磨きを屋外で実施している様子

③ 子どもたちの清潔衛生支援活動

新型コロナウイルス感染拡大以降、手洗いの大切さが見直されています。2023年4月から6月、及び10月から12月にかけて、サザンライオンは、マレーシアの保健省(MOH)とBridges PR & Events Sdn. Bhd. と共同して、セランゴール州のクランバレーでの7-9才の子どもたちが、「Kirei Kirei (キレイキレイ)」を使って正しい手洗いステップを学び、自発的な手洗い習慣を身につけてもらうことを目的としたイベントを開催しました。約47,500名の子どもたちが参加しました。



屋外教室での手洗い指導の様子



「正しい手洗い」の方法を学ぶ子供たち

④ 先住民の子どもたちに向けたライオン衛生習慣普及啓発活動

2023年、サザンライオンは、先住民の子どもたちに衛生習慣を身につけてもらう活動を政府が運営する歯科医院と一緒に、Sek Keb Tanah Abangで実施しました。子どもたちは手洗いだけでなく、洗髪や爪切りなどの基本的な衛生習慣を楽しみながら学ぶことが出来ました。この活動には先住民の子どもたち950名が参加しました。



手洗い啓発の様子

⑤ 難民の子どもたちに向けた健康・清潔衛生支援活動

サザンライオンは、難民の子どもたちに向けた健康・清潔衛生支援活動を2013年より実施しています。これらの活動は、NGOやUNHCR（国連難民高等弁務官事務所）の協力のもと、クアラルンプール市やジョホール・バル市で行っています。2020年からはCOVID-19の影響で活動は中止になっています。

2019年は10月23日にジョホール州のコタ・ティンギ地区にあるKT学校で、UNHCRのもとで保護されているロヒンギャ難民の生徒たちに、清潔衛生に関心を持ってもらうことを目的に活動しました。講義を通じて、7歳から16歳の90名の生徒たちに正しいオーラルケアや手洗い方法など、清潔衛生の基礎知識を伝えました。

講義の後には、生徒の誕生日を一緒に祝い、楽しい時間を共有しました。また、生徒たちには、家庭でも使えるようにサザンライオンの衛生品が入ったバックや支援グッズをプレゼントしました。活動開始より累計で約660名の子どもたちが参加しています。



歯みがきと手洗いの実践指導



正しいシャンプーを教わる様子



支援グッズをプレゼント

環境保全活動

① サザンライオン周辺区域で、グリーン化活動を展開

サザンライオンでは、2022年4月6日に、従業員の心身の健康のため、また、環境美化を目的に、敷地内の緑化やハーブや野菜の栽培を開始しました。従業員10名が参加し、以下の4つのことを実施しました。

1. 花壇を作るための敷地の補修・美化
2. 収穫してスタッフに配ることができるハーブや野菜の植え付け
3. 収穫された野菜は適宜梱包され、カフェテリアにて無料で従業員に配布
4. 従業員はいつでもハーブを採取し自宅へ持ち帰り



花壇をつくるため敷地を補修する従業員



ハーブや野菜を植え付け



カフェテリアで収穫したハーブや野菜を配布する様子



グリーン化活動に参加したサザンライオンのメンバー

② サステナブルなリサイクルキャンペーン

2022年6月15日-22日の間、サザンライオンのカフェテリアで、従業員のリサイクル意識を醸成し、廃棄物ゼロを目指すため、自宅で使用しなくなった物をもちより、必要とする人にプレゼントするキャンペーンを実施しました。期間中200名の従業員が訪れ、環境意識も高まりました。



出品された品物



カフェテリアで品物を手にする
参加者たち



活動の報告を受ける幹部たち



活動を牽引するサザンライオンのスタッフ



③「サザンライオン 環境の日」に関する環境保全活動

サザンライオンは、従業員の地球環境の保護意識を高めることを目的に、毎年11月27日を独自で「環境の日」として設定しています。2022年はCOVID-19の影響で活動は中止になりました。

2020年は、資源の3R(リデュース、リユース、リサイクル)推進や、健康により食料(材)を自分たちで育てて食べることの大事さを体験することで、環境問題についての関心や認識を高めることを目的とした3つの取り組みを行いました。

1. リサイクル可能材料の回収

従業員の自宅から、本、紙、プラスチックやアルミニウムなどのリサイクル可能な材料を回収。



リサイクル可能材料の回収

2. 使用済み食用油で使った石けん作り

従業員が自宅で使った食用油を持参・再利用し、石けん作りに挑戦(廃油石鹸)



使用済み食用油を再利用した手作り石鹸

3. 植物の養子縁組プランテーション

区画地を活用して、サラダ用の野菜やハーブを植栽この活動には、400名の従業員が参加しました。



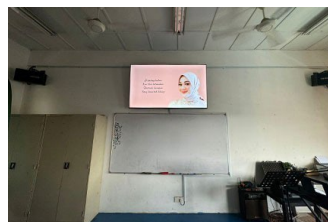
サザンライオンのハーブガーデンに植栽

寄付活動

サザンライオンは、企業の社会的責任と衛生用品製造会社として、自社で販売する衛生用品の商品寄付活動等、社会貢献活動を積極的に行いました。

活動1 地域社会に、衛生教育環境設備を提供

活動時期	2023年11月1日
社外協力者	SK Kangka Tebrau
寄付内容	6才から12才までの小学生向けにsmartTVを提供
活動の詳細	サザンライオンは、2023年11月1日、SK Kangka Tebrauで6才から12才までの小学生向けに、学校運営者とともに、ゆとり教育が受けられる環境づくりを行いました。Smart TVを設置して、地域社会の小学生、教員、保護者が衛生教育のコンテンツを視聴できるほか、スポーツ番組や楽しい活動ができるようにしました。この活動にはサザンライオンの従業員も参加し、市民700名と交流しています。



smart TVを設置する様子

活動2 恵まれない学生と家族への断食明け祝祭準備の寄付活動

活動時期	2023年4月11日
社外協力者	SK Kangka Tebrau
寄付内容	日用必需品や断食明け祝祭用の物品 150セット
活動の詳細	SK Kangka Tebrauにて、B40*レベル階層市民の中でもB1カテゴリーの4才から12才までの子どもがいる家庭向けに日用必需品や断食明け祝祭用の物品を150セット寄付しました。 * B40 カテゴリーはマレーシアの世帯収入の下位40%を表し、収入がRM5,250未満の316万世帯で構成されます。(2023年12月末)



支援対象者との集合写真



支援物資のセット

災害における寄付活動

活動1 洪水にあった教育機関の清掃活動

活動時期	2023年10月24日
社外協力者	Sek Keb Kangka Tebrau
寄付内容	洪水にあった学校の清掃活動を、サザンライオンの商品を活用して実施
活動の詳細	洪水にみまわれた小学校の周辺を児童と先生と一緒にサザンライオンの社員が清掃活動を実施。清掃活動にはサザンライオンの商品を活用。小学生と先生、サザンライオンの従業員の合計 770名が参加。



清掃活動の様子と活用したサザンライオンの商品

活動2 マレーシア赤新月社と協業した洪水被害への物資提供

活動時期	2022年12月16日
社外協力者	マレーシア赤新月社
寄付内容	洪水の災害時に必要な清潔・衛生物資を提供
活動の詳細	洪水被害者とボランティアの方2,000名に、被災地で必要な清潔・衛生商品を提供



サザンライオンからの寄付物品の提供

活動3 NGOと協業した農村地域への啓発活動

活動時期	2022年9月-11月
社外協力者	Yayasan Sukarelawan Siswa (NGO)
寄付内容	農村地域の子どもたちにハミガキ指導を実施
活動の詳細	サバ州の農村部の4歳から12歳の子供たち1200名を対象に、歯科衛生に関する認識を広めるため、ボランティアと一緒に歯科健診と歯みがきの方法を指導。



NGOのボランティアが子どもたちに歯みがき指導をする様子

PT. Lion Wings

✓ オーラルヘルスケア ✓ 寄付活動

オーラルヘルスケア

① オーラルケア教育イベント

PT. Lion Wings（以下、「ライオンウイングス」という。）は、子どものころからのオーラルケア習慣の普及を目指し、歯科医師と連携したオーラルイベントを2008年よりインドネシアの幼稚園や小学校などの教育機関と連携して開催しています。

イベントは、4歳から5歳の幼稚園児と6歳から10歳の小学生を対象としており、『KODOMO』ブランド（ライオンウイングスの子ども用オーラルケア商品）の動画や歯科医師による歯みがき指導などを通じて、歯をみがくことの大切さを伝えています。また、家でも実践してもらえるよう、イベントの最後には、児童と保護者を含む参加者全員で正しい歯みがき方法で歯をみがいてもらっています。

さらに、オーラルケア習慣が確実に定着するように、ライオンウイングスは毎年、同じ学校及び幼稚園を訪問しています。2023年は、1月から12月にかけて、100校でイベントを開催し約10,000名の子どもたちが参加しました。



歯みがき指導の様子



イベント当日の様子

② 大人のためのオーラルケア習慣の普及啓発活動

2023年は、インドネシア10都市の住宅街で、ライオンウイングスが販売するハミガキ「Ciptadent（チプタデント）」のサンプリングと歯科検診を実施しました。このイベントでは、街中をイベント担当のスタッフが音楽とともに喧伝して回り、多くの市民に参加を呼びかけ、洗面台を複数用意し、実際に歯磨きを体験してもらいました。オーラルケア習慣の普及啓発活動を教育面に加えて、楽しくエンターテインメント性のある充実した内容で提供しました。

この活動には約10,000人の住民の方々が参加し、オーラルケアを習慣にすることの大切さを学ぶ機会となりました。



イベント当日の様子

③ World Oral Health Dayに学校でオーラルケア啓発活動実施

ライオンウイングスは、2023年3月20日に学生への歯みがき習慣定着を目的として教育機関でオーラルケア啓発活動を行いました。ライオンウイングスが販売する『Systema』ブランドのハミガキとハブラシを使用して歯磨きを一緒に行い、オーラルケアに関するクイズや楽しい活動を展開しました。生徒や教員を中心に300名参加してくれました。



イベントポスターとイベント当日の様子

④ 歩行者天国で、オーラルケアイベント実施

インドネシアの首都ジャカルタは、世界的にみて交通量が多く渋滞で有名な都市として知られています。そこでインドネシア政府は、毎週日曜日の午前中は、「カーフリーデー」としてジャカルタの中心部の道路(約6キロ)を規制し、歩行者天国にして、一般市民が楽しめるように開放しています。

2023年、ライオンウイングスは生活者との接点拡大やブランド認知促進を目的に、歩行者天国でオーラルケアイベントを実施しました。イベントブースには、1,000名の市民が訪れ、歯みがきのサンプリングを受け取り、歯みがき体験をしました。



歩行者天国でのイベント開催の様子

⑤ インクルーシブ・オーラルケア活動

ライオングループが進めているインクルーシブ・オーラルケア活動は、経済的困窮者、身体格差、情報・教育格差に直面する人にオーラルケア機会（商品・サービス・啓発）を提供する活動です。

活動1 オーラルケア・衛生習慣の習得を目的とした孤児院に対する寄付

活動時期	2020年8月
活動場所	Pondok Taruna Orphanage Jakarta（孤児院）
社外協力者	GBI Jemaat Induk Senayan Church
参加人数	30人
寄付数量	Kodomo Wetwipe 150個 Kodomoハミガキ 20g 150個 Kodomoシャンプー 45ML 150個 Systemaハミガキ 20G 60個 Zactハミガキ 20g 60個

活動2 教会が支援する貧しい子供たちへの寄付

活動時期	2020年12月
活動場所	St Albertus Harapan Indah Church
社外協力者	St Albertus Harapan Indah Church
参加人数	30人
寄付数量	Zincシャンプー 70ML 120個 Kodomoハミガキ 45g 44個 Kodomoハブラシ 44個 Ciptadentハブラシ 144個 Ciptadentハミガキ 75G 144個



孤児院での活動後集合写真



St Albertus Harapan Indah教会にて

寄付活動

ライオンウイングスは、企業の社会的責任と生活者の身近な製品を製造・販売する企業として、製品寄付等の社会貢献活動を積極的に行いました。

災害における寄付活動

活動1 震災被害を受けた方への支援

活動時期	2021年1月
活動場所	西スラウェシ州 MAMUJU県
活動の詳細	西スラウェシ州で発生したマグニチュード6.2の地震で被害を受けた方々約500名に対してライオンウイングス製品を寄付。 10,272,000Rp相当（約83,000円）

活動2 洪水被害を受けた方への支援

活動時期	2021年2月
活動場所	西ジャワ州 KARAWANG
活動の詳細	西ジャワ州で発生した大雨による洪水で被害を受けた方々約500名に対してライオンウイングス製品を寄付。 11,027,200Rp相当（約89,000円）

活動3 孤児院支援

活動時期	2021年4月
活動場所	西ジャワ州 Depok市
活動の詳細	孤児200名に対してライオンウイングス製品を寄付。 2,680,000Rp相当（約21,500円）

活動4 洪水被害を受けた方への支援

活動時期	2021年6月
活動場所	バンテン州 LEBAK
活動の詳細	バンテン州で発生した大雨による洪水で被害を受けた方々約300名に対してライオンウイングス製品を寄付。 3,544,000Rp相当（約28,000円）

活動5 孤児院支援

活動時期	2021年9月
活動場所	東ジャカルタ州 KRAMAT JATI
活動の詳細	孤児200名に対してライオンウイングス製品を寄付。 3,544,000Rp相当（約28,000円）

活動6 SEMERU山噴火の被害に遭われた方々への支援

活動時期	2021年12月
活動場所	東ジャワ州 SEMERU
社外協力者	CT ARSA FOUNDATION
活動の詳細	東ジャワ州で発生したSEMERU山噴火で被害を受けた方々（子供約100名＋大人約300名）に対して、地方の貧しい地域を支援するCT ARSA FOUNDATIONを通じ、ライオンウイングス製品を寄付。 10,272,000Rp相当（約83,000円）



ライオンウイングス製品を手にする子供たち

新型コロナウイルス感染症における寄付活動

活動1 インドネシア大学歯学部の商品を寄付

活動時期	2020年4月
活動場所	インドネシア大学歯学部
社外協力者	インドネシア大学歯学部
寄付内容	Zincシャンプー 70ML 21梱 Serasoftシャンプー 70ML 20梱 Emeronシャンプー 70ML 20梱 Ciptadentハブラシ 19梱 Ciptadentハミガキ 75G 19梱
活動の詳細	新型コロナウイルスの感染拡大で影響をうけたインドネシア大学歯学部で働く方々に対してライオンウイングスの商品を寄付

活動2 貧困地域に住む方々に商品を寄付

活動時期	2020年5月
活動場所	東ヌサトゥンガラ州 Kodi Utara
社外協力者	CT Arsa Foundations
寄付内容	Zincシャンプー 70ML 21個 Kodomo Wetwipe 10PCS 7梱 Mama Lime台所洗剤 230ML 21梱 Ciptadentハブラシ 7梱 Ciptadentハミガキ 75G 7梱
活動の詳細	地方の貧しい地域を支援するCT Arsa Foundations を通じて、新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた貧しい地域の方々にライオンウイングスの商品を寄付

Lion Corporation (Korea)

✓ オーラルヘルスケア ✓ 清潔衛生習慣 ✓ 環境保全活動 ✓ 寄付活動

オーラルヘルスケア

① ベビーフード企業と連携したオーラルケアのプロモーションを展開

Lion Corporation (Korea) (以下、「ライオン코리아」という。)では、2022年から2023年にかけて、0-2歳の子供をもつ、離乳食を初めて買った人を対象に「KODOMO」安心ゼリー歯ブラシ2本入り製品を2つ贈呈し、リピート割引クーポンが使用できるキャンペーンを行いました。離乳食を始めるご家庭にとっては、子どもたちが自分で行う歯みがき習慣や保護者による仕上げ磨きをすることはとても大事な習慣です。幼少期からの歯みがき習慣の定着に向けて、この活動に2023年は、月3,500名、総勢42,000名が参加しました。



プロモーション広告内容

② 「Playtime Kids Cafe (プレイタイムキッズカフェ)」に遊びにきた子どもたちへオーラルケア啓発

2023年の1年間、ライオン코리아は、国内最大級のキッズカフェである「Playtime Kids Café」と共同し、歯みがきへの抵抗を減らし、オーラルケアの重要性を啓発することを目的に、訪問者である3~7歳の子ども9,200名に「KODOMOハブラシ」を提供しました。館内では「KODOMOハブラシ」のコマーシャルが流れ、ブランド認知の拡大も図りました。



プロモーション告知の状況

③ 保健所・大学と共同した幼稚園・小学校・福祉施設でのオーラルケア指導

ライオン코리아は、西大門（ソデムン）区保健所と延世（ヨンセ）大学歯学部予防歯科学の協力のもと、ソウル特別市内の西大門区管内の教育機関に歯みがき施設（歯科健診やオーラルケア指導を行う施設）を設置し、そこで歯みがき教育を2014年より実施しています。参加してくれた小学1年生から6年生に対し、歯みがき施設では、歯科医師・歯科衛生士による継続的なモニタリングを行っています。年に2回歯科健診を行い、4年間経過観察し（対象は小学1年生から6年生）、さらに、正しいオーラルケア習慣を身につけてもらうよう、毎月1回、歯科衛生士が幼稚園、小学校、福祉施設を訪問し、昼食後の歯みがき習慣や正しい「予防歯科」習慣を児童に伝えています。2023年は、公共産後調理院含む小学校12校、合計9,632名にオーラルケアの指導をしました。2014年から累計で71,009名の児童に歯みがき教育を行っています。



参加した児童たち



指導風景

④ 「小学生歯みがき大会」の実施

ライオングループは、生涯にわたって人々の健康保持をサポートするため、子どものころからの歯とお口の健康意識を育むことに重点を置いています。日本では、小学生に対して正しい歯みがき指導やオーラルケアを指導することを目的に「全国小学生歯みがき大会」を1932年から実施しています。現在では、活動の場をアジア中心に広げ、小学校で毎年開催しています。

ライオン코리아では、2009年より「小学生歯みがき大会」を開催しています。2023年は5月の大会に、ソウル特別市内と釜山広域市内にある、ソウル日本人学校4年生50名、プサン日本人学校4～6年生35名の児童85名が参加しました。2009年から累計で8,288名の小学生が参加しています。



「小学生歯みがき大会」（2019年）の様子



歯みがき大会に参加した子どもたち
(2019年)



歯みがき大会を開催する
ライオン코리아の従業員（2019年）

⑤ 入学祝いに歯みがきセットをプレゼント

2021年4-5月、ライオン코리아は、適切なオーラルケア習慣を身につけて健康を維持してもらうことを目的に、Teacher Mall（本サイトに登録している学校の先生が教材を購入するための専門モール）を通じて、ライオン코리아が韓国で販売している『Kids safe ハブラシ』と『Kids safeハミガキ』のセット品を小学校新1年生5,300名に提供しました。



『Kids safeハブラシ』と
『Kids safeハミガキ』



Teacher Mall Webサイト内で
ポップアップされた
『Kids safe』商品

⑥ 健康についての講演を地域住民へ実施

ライオン코리아は2012年より、保健所、文化センター、保健教師協会等が開催している様々な教育プログラムに参加し、健康に関する講演を行い、地域住民の健康増進に貢献しています。

講演内容は、各プログラムの参加者や形態に合わせてアレンジしています。専門家に委託して、乳幼児・保護者の正しいオーラルケア、オーラルケア管理方法、お口の健康と全身疾患の関係、感染症予防のための生活習慣等について幅広い知識を参加者に伝えています。2021年も新型コロナウイルス（COVID-19）感染症拡大防止の観点から、ZOOMにて講演を2回行い、約250名に受講いただきました。2012年から累計で約19,150名の方が参加しています。



地域住民対象の健康テーマ講演（2020年）

⑦ 保健所と共同の「歯みがき相談室」

ライオン코리아は、地域住民のオーラルヘルスケア意識の向上および「予防歯科」意識向上を目指し、広津（クァンジン）区保健所と共同で、毎週火曜日に「歯みがき相談室」を2012年より開催しています。参加者に自分のお口の状態についてセルフチェックをしていただいた後、一対一の個別検査を行い、それぞれの歯とお口の状態に合わせたセルフケア方法を指導しています。

2019年は約1,790名が参加し、累計で約17,000名が参加しています。2022年もCOVID-19の影響で活動を休止しました。



歯とお口の状態に合わせたオーラルケア方法の個別指導

清潔衛生習慣

【特別共同企画】

Actions for Handwashing Day 2023



ライオン코리아は、2023年8月1日から9月30日にかけて、世界手洗いの日に賛同した活動を「My Bottle Challenge」で行いました。ライオン코리아モールとNAVER.comで「Ai! Kekute (アイケクテ)※」を購入した方にマイボトルステッカーを送付し、ライオン코리아のインスタグラムにイベントに参加した子どもたちが作成したマイボトルステッカーの絵をアップロードしてもらいます。絵を提供してくれた家族をNAVERのライブコマースイベント「My bottle challenge」に招待して、コンテストを実施しました。「Ai! Kekute」ブランドとの親和性や手洗いをしたくなるか、描かれたステッカーの絵に芸術性があるかなどの基準で優れた作品を選定しました。このイベントは子ども向け慈善基金団体の「Child Fund Welfare」の協力を得て開催され、約600名の子どもたちが手洗い啓発に対し楽しく学ぶことが出来ました。

※ 「Ai! Kekute (アイケクテ)」は、ライオン코리아が販売するハンドソープのブランド名です(ライオンが販売する「キレイキレイ」)。韓国語で「あら!キレイ」という意味です。



① 障がい者との協創による「Ai! Kekute」限定企画品 Season4 企画

ライオン코리아は毎年「Ai! Kekute」限定企画品を発売しています。この限定企画品は、製品設計からパッケージのデザイン、生産、販売、寄付などのプロセスにおいて、ミラル福祉財団やグッドウィル*を通じて障がい者と共同しており、収益金を還元することで、障がい者の雇用と収入アップに貢献することを目的としています。

<企画趣旨>

- 障がい者との協創による社会的・経済的価値を創出 (CSV)
- 潜在意識にある障害に対する偏見を乗り越え、一人ひとりの多様性を尊重する
- 「Ai! Kekute」ならではのキャンペーンとして位置づけ、最終的にはブランドに対するポジティブなイメージを醸成する。

2023年は4月に限定企画品 (Season4) が発売され、障がい者30人の雇用創出に貢献しました。

* グッドウィル (the Good Will) は、障がい者やホームレスなど働き口を求める上で社会的に不利な立場に置かれている人たちのために職業訓練を提供したり、雇用サービスなどを行うことを目的としている非営利団体。



障がいを持つアーティストがデザインをする様子



『Ai! Kekute』Season 4の限定企画品



店頭で推奨販売

② 自治体と連携した清潔衛生習慣定着活動

出生率の減少は、韓国においても社会課題となっています。ライオン코리아は、出生率の向上に向けて政府・自治体と連携した取り組みを実施しており、自治体との事業協約を締結しています。出生届を提出した家庭を対象に、衛生的な暮らしを支える「衛生セット」をお渡しし、新生児の衛生的な毎日を支援しています。2023年は56の自治体に拡大し事業協約を結んで支援活動を実施しました。また、PM2.5等、高まる環境汚染に対する不安を低減できるよう、正しい手洗いに関する情報や『Ai! Kekute（アイケクテ）ハンドソープ』を43,032世帯に提供しました（累計609,429世帯）。



各自治体との事業協約

③ 地域社会の清潔衛生習慣づくりによるマタニティ支援施策「ヨチヨチキャンペーン」

ライオン코리아では、2013年から継続してきた社会貢献活動「ヨチヨチキャンペーン」のリニューアル開催を通じ、全国56の地方自治体と基本合意書を結び、全国の出産世帯に『Ai!Kekute出産ギフトセット』を無償で提供し支援しています。2024年からは、免疫力が弱くなり、正しい衛生管理が特に大事になる妊婦を対象に、『Ai!Kekute』及び『Systema』ハミガキ・ハブラシが同封された衛生用品セットを提供していきます。商品のパッケージデザインは低所得高齢者の雇用創出に貢献する社会的企業の『Arip&Werip』と協業して制作し、付加価値をつけています。

「ヨチヨチキャンペーン」実施にあたり、2023年11月にソウル市、社会福祉共同募金会と妊産婦向け衛生用品を寄贈する事業協約を締結しました。

この活動を通じ年間40,000人の妊産婦の清潔衛生習慣づくりに貢献していきます。



ソウル市、社会福祉共同募金会、ライオン코리아3者の協定式の様子



提供する衛生用品セット

④ 衛生教育キャンペーン「出動!スーパー健康ヒーロー」

2024年5月～6月に開催、衛生教育キャンペーン「出動!スーパー健康ヒーロー」は乳歯から永久歯に生え変わる時期の小学校1年生から2年生対象オンラインプログラムです。ライオン코리아、Good neighbors仁川本部、Seed Co-op(若者教育社会的協同組合)が協働し、オンライン教育動画コンテンツ及び30日チャレンジミッションを開催しています。キャンペーンのホームページ及び全ての教育動画は、韓国語、英語、日本語、中国語、ベトナム語、ロシア語の6か国語で提供しています。

このキャンペーンは、仁川教育部の公式支援事業として承認を得ています。毎年、この活動により仁川市の小学校1年から2年生約900人が正しい歯みがき・手洗い衛生習慣を身に付けていきます。



キャンペーンのホームページトップ画像

⑤ 疾病管理庁の国民向け「正しい手洗いキャンペーン」に協力

ライオン코리아は、韓国国民の健康のために設立された保健福祉部所属機関「疾病管理庁*」との関係を築いています。10月15日の「世界手洗いの日」を契機に、疾病管理庁の国民向け「手洗いキャンペーン」と協力し、ライオン코리아のマーケティング室は2022年11月から2023年3月にかけて、約150,000本の「Ai!Kekute」ロングセラー5品にキャンペーンステッカーを付着し、全流通チャネルで販売しました。

* 新型コロナウイルス禍で政府の防疫スキル強化の必要性が台頭し、2020年に「疾病管理本部」から「疾病管理庁」へと昇格しています。



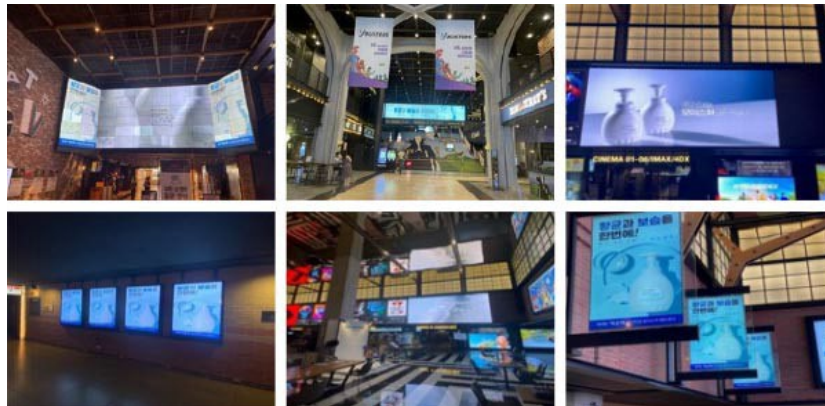
疾病管理庁提供の手洗いリーフレット



キャンペーンステッカーが貼られた「Ai! Kekute (アイケクテ)」5品

⑥ 「Ai! Kekute (アイケクテ)」とCGVとのコラボ広告宣伝企画

ライオン코리아は韓国で最大級の映画館「CGV」で、『Ai! Kekuteプレミアムモイスチャー』の大々的な広告宣伝を実施しました。全土にあるCGVのロビーに、ポスターや動画を通じて広告宣伝するとともに、館内のトイレにはポスターだけでなく、商品と啓発ステッカーを設置して商品の良さと正しい手洗いの方法をPRしています。2023年には、5,600万名の来館がありました。



館内に大々的な広告宣伝（スクリーンや垂れ幕など）



館内のトイレに貼ってある「Ai! Kekute (アイケクテ) プレミアムモイスチャー」の手洗い説明ステッカー

⑦ 社会的弱者への健康支援活動

韓国では、お年寄り等、社会的弱者の劣悪な生活環境による健康被害（シックハウス症候群・ハウスダスト症候群等）が社会課題となっています。韓国政府（環境部 韓国環境産業技術院）は企業・病院・自治体等と連携して、生活環境の改善に向けた支援事業に取り組んでいます。

ライオン코리아もこの事業に参画しており、2015年より社会的弱者の方がいる世帯を対象に、台所用洗剤、洗濯用洗剤、オーラルケア製品等の日用品を提供し、健康的な毎日を支援しています。2023年は1,500世帯を対象に実施し、今後も継続的に取り組みます。



政府との事業協約



日用品の支援

⑧ 「幸福アライアンス（Happy Alliance）」*と共同で行う児童衛生教育プログラム等の推進

ライオン코리아は、2017年8月に社会貢献活動や持続的な社会貢献事業モデルを促進するため、幸福アライアンスとパートナー協定を締結しました。2023年3月は、食事がとれないことが懸念される児童及び衛生環境が厳しい階層の児童1,400名に幸せBOXを提供しました。この幸せBOXには、ライオン코리아が韓国で販売している「Kids safeハブラシおよびハミガキ」、むし歯予防学習リーフレットが入っているので、自宅に帰ってからも正しい歯みがきができるようになっています。

これからもライオン코리아は、子どもたちのQOL（生活の質）向上に貢献するため、幸福アライアンスとの協力を継続していきます。

* 幸福アライアンス（Happy Alliance）は、分かち合いと協力により社会に変化をもたらすため、社会問題の解決に取り組む最前線で活躍する企業、機関、個人のネットワークです。



幸福アライアンス協定式

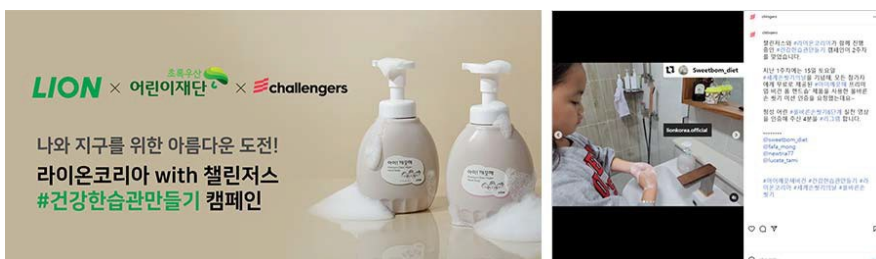


社会的弱者の人達に届けるライオン코리아の日用品が入った箱を持つボランティア従業員

⑨ MZ世代*をターゲットとする健康管理モバイルアプリ「Challengers」と連動した「より良い習慣づくり」プロモーションを展開

2022年9月から10月にかけて、MZ世代を対象に健康アプリを活用し10月15日の「世界手洗いの日」と連動した手洗い啓発を実施しました。この活動は、「Challengers」ユーザー500名を対象にライオン코리아が販売する泡ハンドソープ『Ai!Kekute』製品を使った正しい手洗いで、Instagram認証ミッションを与えて「元気な生活習慣づくり」を呼びかけてもらう仕組みです。ライオン코리아では、こうした活動を推進することにより、韓国内ハンドソープNO.1企業としての使命を果たしていきます。

* MZ世代（Generation MZ）とは、1980年代半ばから1990年代初頭に生まれた「ミレニアル世代」と、その後の1990年代後半から2010年の間に生まれた「Z世代（ジェネレーションZ）」の2つの世代を合わせたもの。



キャンペーン告知内容

⑩ 「緑の傘子供財団」共同『Ai! Kekute』のカラフル・トイレ・キャンペーン

2020年5月、ライオンコリアは、恵まれない子どもたちに手を差し伸べる韓国最大の財団である「緑の傘子供財団」と下記を目的に基本合意書を締結しました。

- 地域児童コミュニティセンターなど、子どもが利用する施設の手洗い関連衛生環境の改善
- 新型コロナウイルス感染症により、更に高まっている手洗い習慣を定着させるため、衛生環境に恵まれていない児童に対する衛生用品の支援強化
- 従業員による衛生教育の実施

この取り組みの一環として、ライオンコリアは、『Ai! Kekute』の売上の一部（1億ウォン）を財団に寄付し、その資金は子どもたちが利用する施設の洗面台やトイレなどの衛生環境メンテナンス費用に充てられています。「カラフル・トイレ・キャンペーン」は、常に水廻りを清潔に保ち、更に『Ai! Kekute』を設置することで衛生環境に彩を加え、子どもや地域社会の健康増進を図ることを狙いとしています。2022年は、4歳から16歳の子ども500名が通うソウル特別市の地域児童コミュニティセンター13カ所のメンテナンスを完了しました。



リモデリングが完了した
Ai! Kekute カラフル・トイレの Before/After

漫画家と協力してインスタグラムでキャンペーンを
宣伝しました

⑪ 『Ai! Kekute (アイケクテ)』子ども向け手洗い教室

ライオンコリアでは、子どもたちが自分自身の健康を守る事ができるように、ライオンコリアが販売しているハンドソープ『Ai! Kekute』を使用して、正しい手洗い方法を指導しています。清潔衛生習慣の定着において、特に重要な時期は幼児期です。

2016年より、ライオンコリアでは、ソウル特別市および首都圏の4歳から6歳の幼稚園児を対象に『Ai! Kekute』手洗い教室を開催しています。教室では、泡の形のキャラクターと司会者が子どもたちの興味を引きつけ、積極的な参加を促しています。手洗いソングや体操を通じて正しい手洗いを教え、手を洗うことは面倒なことではなく楽しい行為であることを伝えていきます。また、参加した子どもたち全員に「手洗いシートとシール」を配布し、各家庭で手洗いがきちんとできた後に保護者にシールを貼ってもらい、手洗い習慣が身についていることを手洗いシートを通じて幼稚園の先生に確認してもらっています。2017年は50の幼稚園で『Ai! Kekute』手洗い教室を実施し、6,580名の幼稚園児が参加しました。

2019年は、ライオンコリアの従業員の子どもの子どもが入園している4つの幼稚園で手洗い教育を実施しました。また、従業員が参加する毎月のボランティアプログラムを地域児童コミュニティセンター2カ所で行い、手洗いの歌や体操を通して、手洗いが退屈ではなく、楽しいことであることを子どもたちにレクチャーしました(対象:4歳から13歳、参加者合計:約300名)。



『Ai! Kekute』手洗い教室の様子

環境保全活動

① 仁川広域市協カスングギチョン環境浄化活動

2023年4月、ライオン코리아は仁川広域市協カスングギチョン環境浄化活動に参加しました。仁川スング川の水質改善及び水域生態系の復元のために周辺のゴミ拾い、外来植物除去などを実施し、市民の生活の質を向上させることに貢献しました。この活動は、仁川広域市、法務部仁川保護観察所、海軍仁川海域防衛司令部、仁川交通公社、仁川環境公団、CJ第一製糖、仁川広域市河川復活活性化準備団と協働して実施し、ライオン코리아の従業員15名が参加しました。ライオン코리아は「1社1河川、1社1道路づくり運動および街づくり」をテーマとして掲げており、今後も西海沿岸浄化活動に定期的に参画していきます。



清掃活動の様子

② 森作りプロジェクトの支援

蘭芝島（ナンジド）は、1970年ごろからソウル特別市の公式ごみ埋立地に指定されていた漢江（ハンガン）沿いの小さな島です。ソウル特別市の急速な近代化および経済発展の影響で蘭芝島はごみの山と化しました。1990年ごろ、埋立地は閉鎖されましたが、政府はこの問題を深刻にとらえ、蘭芝島を「生態公園」として再生させるプロジェクトを立ち上げました。その内のひとつである「ハヌル公園」にて、市民団体・企業・政府が連携し、生態系の回復を目指す「100の森作りプロジェクト」が推進されています。ライオン코리아も、環境保全を大切にする企業として、このプロジェクトを2017年より支援しています。

ライオン코리아は、『Ai! Kekute（アイケクテ）』と名づけた独自の森をつくり、従業員がボランティアで約100本の苗を植樹しました。また、苗木が安定して育った後に、ハヌル公園内の森に移し変えています。2019年はこの活動に従業員とその家族86名が参加しました。



苗木を移し変える場所を探す様子



苗木の移し変え



従業員家族の
「『Ai! Kekute』の森」植樹活動

寄付活動

ライオン코리아は、企業の社会的責任と衛生用品製造会社として、自社で販売する衛生用品の現物寄付活動等、社会貢献活動を積極的に行いました。

活動1 保育園の乳児や教師むけ感染予防『Ai!Kekute』リニューアル記念 保育園の感染症予防支援 広報及び寄付

活動時期	2023年11月
社外協力者	保育園安全共済会
寄付内容	韓国全国の保育所30,000園に『Ai!Kekute』ハンドソープを寄付
活動の詳細	ライオン코리아のESG & Communication室傘下のCSR & Communicationチームが保育園安全共済会と協働し、保育園の園児と保育士の正しい手洗い習慣づくりと感染症予防に貢献するため、保育園に『Ai! Kekute』ハンドソープを寄付。



活動2 洗剤『BEAT』寄贈による若者の自立支援

活動時期	2023年9月4日 「若者の日」
社外協力者	緑傘子供財団、ソウル市自立支援担当機関
寄付内容	ライオン코리아は韓国の衛生用品代表的メーカーの1つとしてソウル市内で自立を目指す青年の生活基盤を支援するため、韓国の国民的洗剤ブランド『BEAT』を寄贈。
活動の詳細	ソウルで暮らす18~32才の青年（合計で130名）を対象に、自立して安定的な生活基盤を整えられるように、緑傘子供財団、ソウル市自立支援担当機関と共同で、洗濯機、乾燥機、韓国の国民的洗剤ブランド『BEAT』などの生活必需品を提供。



活動3 目の健康を目的としたCSR寄付プロモーション

活動時期	2022年3月、9月
社外協力者	ミラル福祉財団ヘレンケラー・センター、韓国失明予防財団
寄付内容	目の健康と関連のある機関を通じて開眼手術費を支援
活動の詳細	ライオン코리아は企業としての社会的責任を果たすべく、また、ブランドリーダーシップを向上させるため、目の健康と関連のある機関を通じて開眼手術費を支援するなど実質的なサポートを提供。視覚/視聴覚障害者の情緒安定のため、文化活動企画及び屋外での活動を支援。



潮干狩り活動の様子

活動4 11月の「点字の日」記念活動

活動時期	2022年から継続中
社外協力者	生活家庭用品事業者定例協議体（ライオン코리아、LG生活健康、AK、韓国P&G、Henkel Korea）、韓国消費者院、韓国視覚障害者連合会、社会福祉共同募金会（愛の実）
寄付内容	製品識別用点字タグを制作
活動の詳細	生活家庭用品事業者定例協議体では、製品識別用点字タグを制作し、ライオン코리아も普及に参加。一部の 카테고리では容器形状が全く同じ、又は似ているため、視覚障害者は識別しにくい状況にある。様々な製品にかけて使える点字タグを制作し普及させて、視覚障害者の生活安全に寄与。

活動5 消費者参加型『Ai!Kekute Limited Edition』寄付イベント

活動時期	2022年4月
社外協力者	NAVER
寄付内容	収益金の寄付
活動の詳細	<p>消費者参加型寄付プロモーションを通じて、企業の肯定的イメージを強化し、製品の信頼度を回復。NAVERライブ配信にて『Ai!Kekute Limited Edition Season 3』セットを購入するとone-for-oneでGood will storeに寄付される仕組み。</p> <p>また、リアルタイムで寄付現況を中継して寄付への参加を呼びかけ、収益金を寄付することで障害者雇用を創出。</p>



LIVE配信イベントのアピール広告

獅王日用化工（青島）有限公司

▼ オーラルヘルスケア ▼ 清潔衛生習慣 ▼ 寄付活動

オーラルヘルスケア

① 歯科医院や教育機関と連携した子ども向けオーラルケア啓発活動

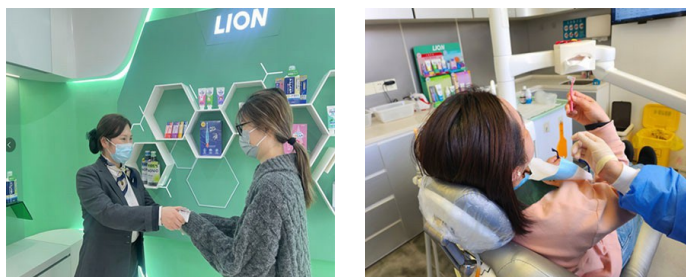
獅王日用化工（青島）有限公司（以下、「青島ライオン」という。）は、上海、北京、広州、深圳、江蘇にて、213もの歯科医院や教育機関と連携し口腔衛生の教育を目的に、オーラルケア啓発活動を展開しました。この啓発活動は、0才から12才の子どもたちを対象に、歯みがきの重要性を理解してもらうためのもので、青島ライオンが販売する「KODOMO」ブランドの歯みがきセットを提供しました。約300,000の子どもたちが歯みがきの重要性を学んでくれました。



オーラルケア啓発の様子

② IBQ歯科クリニックと協働でオーラルケア教育活動

青島ライオンは、2023年1月から12月にかけて、上海にあるIBQ歯科クリニックと共同で、オーラルケア教育活動を実施しました。青島ライオンが販売するオーラルケア商品の紹介をして商品に関心を持っていただき購入につなげることが目的です。自分に合ったオーラルケア商品を見つけ出せるように、展示を工夫しました。歯の健康のために、自宅で行うオーラルケアは大切です。楽しい体験を通じて、オーラルケアの大切さを感じてもらいました。



オーラルケア教育活動の様子

③ NEOBIO Parent-Child Paradiseにてプロモーションを展開

2022年1月から12月にかけて、大手サイエンス アミューズメントパークNEOBIOに来場した3才～10才以上のこどもを持つ36,000家族を対象に、洗口液のプロモーションを展開しました。お口を清潔に保つため、洗口液の使用はとても大事な習慣です。施設の洗面所に、「NONIO」の携帯用洗口液を設置して、来場した家族にお試しいただきました。この活動は上海以外にも、温州、深圳、成都、広州、長沙、杭州、西安、重慶、寧波、南京、蘇州でも展開しました。



洗面所に「NONIO」の携帯用洗口液を設置

④ “MMBang” Mother Care Institutionにて出産前の母親を対象としたオーラルケア啓発活動

2022年1月から12月にかけて20,000名の出産前の母親に対し、妊娠期はホルモンバランスが崩れて、お口が乾きやすくなるため、ママになるためのケア施設“MMBang”で、青島ライオンが販売するオーラルケア商品「NONIOマウススプレー」を配布しました。オーラルケアの大切さを多くの妊婦さんに意識してもらうため、上海、北京、天津、広州においてこの活動を実施しました。



「NONIOマウススプレー」を手にする妊婦さんと医療従事者

⑤ マタニティ教室の支援

マタニティ教室は、妊婦さんの出産に向けた準備を支援するために、中国の15都市にある約200の産婦人科医院で2013年から毎年開催されています。妊娠期は、お口の状態が不安定になりがちのため、マタニティ教室では定期的に、妊娠期のオーラルケアについての講座を開催しています。

青島ライオンは、産婦人科医院でこのオーラルケア講座を、商品・情報の提供を通じて支援しています。



マタニティ教室での講座の様子



配布されたオーラルケアセット

⑥ プレママへのオーラルケア意識啓発の実施

上海市の各区では、妊娠3ヵ月目の女性は、町内の母子保健院に行き、妊娠・出産に関する情報の登録が義務づけられています。青島ライオンは、上海市が運営する家庭計画指導センターと共同で、情報登録をする妊婦さん向けにマタニティオーラルケアセットを配布し、妊娠期のオーラルケアの大切さを啓発しています。セットには冊子「プレママのためのオーラルケア指南書」および『Systemaハミガキ』、『Systema ハブラシ』が含まれており、妊娠期のオーラルケア知識の伝達に努めています。2014年から2017年まで、毎年約30万名に配布をしました。



マタニティオーラルケアセット（左）
「プレママのためのオーラルケア指南書」（右）



マタニティオーラルケアセットのお渡し

⑦ 「小学生歯みがき大会」の実施

ライオングループは、生涯にわたって人々の健康保持をサポートするため、子どものころからの歯とお口の健康意識を育むことに重点を置いています。日本では、小学生に対してオーラルケアを指導することを目的に「全国小学生歯みがき大会」を1932年から実施しています。現在では、活動の場をアジアを中心に広げ、小学校で毎年開催しています。

青島ライオンでは、2017年より「小学生歯みがき大会」を開催しています。2021年は6月と11月に、深センと青島の日本人学校の児童約30名がそれぞれ参加しました。参加校には、事前にDVD教材とオーラルケアセット（大会の冊子、ハブラシ、ハミガキ、歯間ブラシ、手鏡などを含む）が送られます。児童は配布されたオーラルケアセットを用いながら、むし歯の原因や正しいハブラシと歯間ブラシの使い方を学びました。

清潔衛生習慣

① 幼児教育施設で子どもたちへ手洗い習慣普及活動実施

青島ライオンは、上海市内を始め杭州・寧波・蘇州・深圳・広州・北京・済南・青島・武漢の様々な幼児教育施設で、3歳以上の子どもたちを対象に、手洗い習慣普及活動を行っています。各施設の洗面台に『Kirei Kirei（キレイキレイ）ハンドソープ』を設置するとともに、子どもたちに楽しく手を洗ってほしいという想いから、「ハッピー手洗い」のスローガンとともに、正しい手洗いステップを洗面台の側に掲示しています。2023年は、220カ所の幼児教育施設でこの活動を行い、22万名以上の子どもたちが正しい手洗いについて学びました。



各施設のハンドソープ設置やPRの状況

② 幼稚園での手洗い習慣普及活動実施

上海市の幼稚園では、感染症予防のために、園内に入る前に、手を洗うことを推奨しています。青島ライオンは、その支援策として、2016年より上海市の各幼稚園に通う3歳から6歳の幼稚園児を対象とした手洗い習慣普及活動を行っています。青島ライオンは、園児たちが手洗い用の洗面台で使用できるよう、現地で販売している『Kirei Kirei（キレイキレイ）ハンドソープ』を幼稚園に寄贈しています。また、手洗い習慣が身につくための手洗い教室の開催や、きちんと手洗いを実施した幼稚園児全員に手洗いのステップや正しい手洗いのタイミングなどを記載した『Kirei Kirei』健康手帳を配布しています。2023年は、60園、約76,000名の園児たちに配布しました。



幼稚園でのハンドソープ設置状況

③ タクシーの中で手洗い啓発動画を投影

『Kirei Kirei (キレイキレイ) ハンドソープ』は中国を含め、多くの国で販売されています。2020年4月から10月、新型コロナウイルス感染症が流行する中、青島ライオンでは、利用する人が多いタクシーを活用して上海市のタクシー会社と共同で、手洗い、手指消毒を啓発しました。タクシーに乗ると座席に設置している画面上で正しい洗い方や『KireiKireiハンドソープ』のプロモーション動画が流れます。プロモーション動画では、商品説明だけではなく、パンデミック時の手洗いによる感染症予防の重要性と正しい手洗い方法を発信しています。このイベントは約8,000台のタクシーを対象とし、約7,000万人に情報を発信しました。動画の最後には、中国のEコマース大手JD(京東商城)ストアのQRコードが表示され、読み取ると消費者がすぐに商品を購入できるような仕掛けも行いました。



座席に座ると動画が流れ、感染症予防として手洗いの重要性を発信

④ 上海の病院で「手洗いと健康」を高める活動実施

青島ライオンでは、「手洗いと健康」について生活者の関心を高め、健康に過ごしてもらうため、2018年から上海市内の病院で『Kirei Kirei ハンドソープ』のイラストを用いたポスターを掲示して、正しい手洗いについて、病院を訪れる親子に伝えています。また『Kirei Kirei ハンドソープ』の使用を通じて正しい手洗いをしていただけるよう『Kirei Kirei ハンドソープ』のサンプリングを併せて実施しています。

2020年は上海市内の新たな病院にて実施し、約250,000世帯に啓発しました。



『Kirei Kirei』のイラストを通じて、手洗いと健康のつながりを啓発

⑤ 上海の大型公園で「ライオン幸せ生活館」設置

春や秋の行楽シーズンになると、上海市内の公園は人で賑わいますが、外で飲食をする際、手を洗う場所が多くありません。

青島ライオンは、2016年から上海市内の大型公園内に「手洗いハウス」を一定期間設置する活動を実施しています。「手洗いハウス」では、来場者に正しい手洗い方法を伝えるとともに、手洗いのステップや、正しい手洗いのタイミングなどが記載された「Kirei Kirei (キレイキレイ)」健康手帳を全員に配布しています。

2019年は「手洗いハウス」を「ライオン幸せ生活館」に改良し、期間限定のイベントを実施しました。来場者に青島ライオンの商品に触れることで商品のよさを知ってもらうことを目的としています。展示品も従来の『Kirei Kirei ハンドソープ』だけでなく、青島ライオンが現地で販売している『KODOMO』ブランド等のオーラルケア商品もブース展開しました。また、カテゴリーを家庭用品にまで広げ、洗濯用洗剤のブランドである『TOP』等のファブリックケア商品やリビングケア商品の展示を拡大しました。この生活館の来場者に対しては、スタッフが商品の機能や特長を説明し、実際にサンプルを使用してもらいました。見学後、EC（イーコマース）サイトを通じて青島ライオンの商品を購入していただいた来場者は、特設のガチャポンブース*で遊ぶことができ、青島ライオンの商品が当たる特典もあります。イベント期間中、約70,000名に参加いただきました。



ライオン幸せ生活館



『TOP』と『KODOMO』ブースを見学する来場者と商品説明をするスタッフ



ガチャポンブース

* ガチャポンブース

遊び方：

- ①大きなコインを下にある緑の箱の穴に投入します。
- ②ピンクや青のカプセルが上から自動的に落下します。
- ③カプセルを開けると、青島ライオンの商品が表示されたギフトカードが入っています。
- ④ギフトカードとそこに表示された商品を抽選場で交換します。

寄付活動

青島ライオンは、企業の社会的責任と衛生用品製造会社として、自社で販売する衛生用品の現物寄付活動等、社会貢献活動を積極的に行いました。

病用治療中の子どもたちへの慈善寄付活動

活動時期	2023年9月開始
社外協力者	AI YOU 財団 JD Public Welfare JD Health and JD Finance
寄付内容	病用治療を受けている乳幼児や孤児を対象に、AI YOU 財団へ200,000RMB（人民幣）と『KODOMO』ブランド商品（100,00RMB（人民幣）相当）を寄付
活動の詳細	青島ライオンの『KODOMO』ブランドチームは、中国のNational Teeth Dayに、病用治療を受けている子どもたちに対し、慈善寄付活動による公衆衛生イベント”Love Smile”を実施しました。



AI YOU 財団へとの共同イベント



青島ライオンが販売する『KODOMO』商品の寄付

獅王（香港）有限公司

- ✓ オーラルヘルスケア
- ✓ 清潔衛生習慣

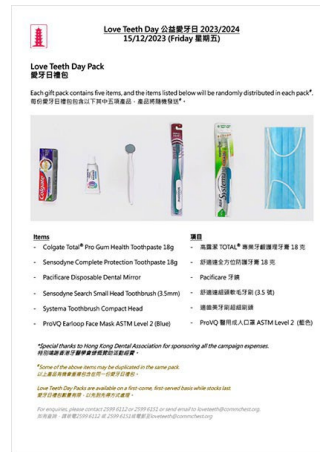
オーラルヘルスケア

① 「Love Teeth Day」 イベント協賛

「Love Teeth Day」は、人々の口腔意識向上を目指して、香港の共同基金・歯科協会・衛生省が連携し2008年より毎年開催しているオーラルケアに関するチャリティー募金イベントで、獅王（香港）有限公司（以下、「香港ライオン」という。）は2009年から14年連続で参加しています。2023年は12月15日に開催され、貧困地域の方が口腔保健サービスを受けられるように、募金運動が行われました。35香港ドル（約700円）以上を寄付したすべての参加者に返礼品として、オーラルケア商品のギフトセット「Love Teeth Day Pack」がプレゼントされました。この中には、ご自宅でオーラルケアを促進する商品が含まれています。2023年、香港ライオンは、40,000本の『Systema ハブラシ』を寄付しました。



Love Teeth Day 2023 ポスター



Love Teeth Day Pack

② 幼稚園・保育所での口腔保健教室支援

「Brighter Smiles for the New Generation」は、香港の衛生省および歯科協会により、香港全土で行っている口腔保健啓発プログラムです。この活動では、香港の幼稚園・保育所で口腔保健教室を開催しています。香港ライオンはこの活動を支援しています（2015年11月～2020年6月）。

口腔保健教室では、幼稚園・保育所の先生が、正しい歯みがき方法を楽しく3歳から6歳の子どもたちに伝えています。教室終了後には、一人ひとりに修了証を渡し、家で実践できるように「Systema キッズハブラシ」、『KODOMOハミガキ』（香港ライオンで販売しているオーラルケア商品）を参加者全員に配布しています。2020年は、770の幼稚園・保育所に通う、99,000名の子どもたちがこの活動に参加しました。



配布された『Systema キッズハブラシ』を手に持ち、明るい笑顔を見せる園児たち

【特別共同企画】

Actions for Handwashing Day 2023



香港ライオンは、2023年6月から10月にかけて世界手洗いの日に賛同し、『KireiKirei』My Bottle Sticker Drawing Contestを実施しました。幼稚園の園児たちに『KireiKirei』のボトルとステッカーを配布し、園児たちがステッカーにお絵描きをます。香港ライオンの KIREI's and Classmate facebookにステッカーお絵描きの作品を投稿してもらい、コンテストを行いました。ステッカーお絵描き作品の選定には、健康的、独創性且つ独自性が問われます。2,500人もの応募の中から、23名の受賞者が選ばれました。

子どもたちは、よい菌（常在菌）を保って、健康でいることの大切さを楽しく学びました。



マイボトルステッカーの一例


獅王家品股份有限公司

- ▼ オーラルヘルスケア
- ▼ 清潔衛生習慣
- ▼ 寄付活動

オーラルヘルスケア

「歯みがき教室」の実施

ライオングループは、生涯にわたって人々の健康保持をサポートするため、子どものころからの歯とお口の健康意識を育むことに重点を置いています。日本では、小学生に対して正しい歯みがき指導やオーラルケアを指導することを目的に「全国小学生歯みがき大会」を1932年から実施しています。現在では、活動の場をアジアを中心に広げ、小学校で毎年開催しています。

獅王家品股份有限公司（以下、「台湾ライオン」という。）は、「全国小学生歯みがき大会」の一環として、（公財）ライオン歯科衛生研究所（LDH）と共同で、2019年6月に台湾の日本人学校2校と、台湾の現地小学校3校で、歯みがき教室を開催しました。

日本人学校76名（高雄日本人学校33名、台中日本人学校43名）、現地小学校820名（烏日國民小學（台中市）120名、五權國民小學（高雄市）100名、集美國民小學（新北市）600名）、合計896名の子どもたちに向けて、小学校低学年（1年生から3年生）および高学年（4年生から6年生）それぞれに合わせたプログラムを実施しました。2018年から現地校にも歯みがき教室を開催し、2019年は新たな現地校で実施しました。

小学校低学年に向けては、30分の授業で「歯の働きや生え変わり」および「むし歯の原因（歯垢）」について説明し、実際に手鏡とハブラシを用い、歯並びに合わせた歯のみがき方を伝えました。

小学校高学年に向けては、歯肉炎の原因や歯肉の観察ポイントについて説明し、歯の模型を用いながら、歯肉炎を予防するための歯並びに合わせたみがき方を個別に指導しました。

参加した小学生は、内容をよく理解し、歯や歯みがきの大切さを学んでくれました。

小学校（日本人学校）の「歯みがき教室」の様子



歯科衛生士の問いかけに元気よく応える高雄日本人学校の子どもたち



歯科衛生士の説明を聞き実践する台中日本人学校の子どもたち

小学校（現地校）の「歯みがき教室」の様子



台湾現地校の子どもたちに歯のみがき方を指導
（左：烏日國民小學、中央：五權國民小學、右：集美國民小學）



台湾現地校の子どもたちにも人気のライオンちゃんと記念撮影
（左：烏日國民小學、中央：五權國民小學、右：集美國民小學）

清潔衛生習慣

【特別共同企画】

Actions for Handwashing Day 2023



台湾ライオンは、2023年の6月から8月にかけて、世界手洗いの日に賛同したイベントをBenesseと協働してキャンペーンを行いました。Benesseの月刊教材「チャレンジ」の新規購読者宛てにサンプル商品及びボトルのステッカーを配布しました。この提供したステッカーに対し、ステッカーにイラストを参加者が描き、キャンペーン先に投稿します。このイラストの内容をテーマとの親和性、創造性、そしてデザイン性を加味して評価しました。

約13,000人の子ども達が手洗いの重要性について、楽しく学びました。



子どもたちが作成したステッカー一例

① 幼稚園での「手洗い習慣」啓発活動の実施

新型コロナウイルスパンデミック以降、手洗いの大切さが改めて重要視されています。台湾ライオンは、手洗いの重要性和正しい手洗い方法の教育を目的に、2023年10月に台湾北部の幼稚園2校で、手洗い習慣の啓発活動を実施しました。幼稚園児・先生・保護者約 140人が参加しました。

- (1) 手洗い衛生知識に関する先生からの指導
- (2) 手洗い歌を歌う/踊るタイム
- (3) マイボトル絵描き
- (4) 手洗い
- (5) バクテリアチェック

併せて、『Kirei Kirei (キレイキレイ)』を寄贈し、園内の手洗い場に設置して実際に園児に手洗いを体験してもらいました。

手洗い衛生知識に関する先生からの指導では、ばい菌・ウイルスの話、「手洗いによって自分の大切な人を守れること」、「正しい手洗いの方法」や『Kirei Kirei泡ハンドソープ』の特長やブラックライトを使用した細菌実験の様子等も分かりやすく伝えました。また、園児たちが自分で作成したステッカーを貼ったオリジナルマイボトルを持ち帰って家族と一緒に使って頂くことで、『Kirei Kirei泡ハンドソープ』を継続して使用してくれることが期待できます。

更に、このイベントのPR策として新聞社と連携することで、記事を掲載し、イベントの露出が高まり、より多くの方に「手洗いの大切さ」を認知していただきました。



ブラックライトを使用した実験を説明する先生



マイボトルステッカー作成の様子



手洗い体験



ライオンちゃんとの集合写真

② 小学校での「手洗い習慣」啓発活動

2022年は、台湾の小学校48校で、手洗い習慣の定着と清潔衛生意識の向上を目指して啓発活動を実施し、小学生・先生・保護者15,369人が参加しました。そのうち8校では「手洗いBOXを活用したワークショップ」を行いました。手洗いBOXは、洗い残した箇所が光るブラックライトで、子どもたちが手洗いするときに注意するようになり、正しい手の洗い方を学ぶことができます。また10月15日に制定されている「世界手洗いの日」（ユニセフ（国連児童基金）など水と衛生の問題に取り組む国際機関や大学、企業などによって制定）に合わせて、台北市芝山国民小学校でワークショップを実施している様子をメディアでも取り上げて頂き、話題喚起も図りました。

多くの子どもたちが「正しい手洗い」を実践し、健康な毎日を送れるよう、これからも貢献していきます。



ライオンちゃんと一緒に正しい手洗いについて学ぶ児童たち

寄付活動

台湾ライオンは、企業の社会的責任として、自社で販売する衛生用品の現物寄付活動等、社会貢献活動を積極的に行いました。

新型コロナウイルス感染症における寄付活動

活動1 現地住民への製品寄付

活動時期	2022年8月
活動場所	台湾南部（屏東縣瑪家郷佳義村、三地門郷馬兒村、安坡村、高樹郷廣福村、屏東縣三地門郷青葉國小）
社外協力者	台北医学大学
寄付内容	・ライオントラベルセット150セット 計1,500台湾ドル
活動の詳細	今後の歯科治療にかかるお口のトラブルを減らして、健康を促進することを目的に、台湾南部の6～80歳の現地住民に正しいオーラルケアの知識を提供し、台湾ライオンの製品を寄付。

Lion Kallol Limited

清潔衛生習慣

バングラデシュ小学校での衛生習慣啓発

バングラデシュは高温多湿な気候条件に加え、衛生環境が十分に整っていない地域もあり、衛生習慣を根付かせていくことは重要な社会課題です。そこで、JICA (独立行政法人国際協力機構) とバングラデシュ食品安全庁が展開する「査察・規制・調整機能強化プロジェクト食の安全 PJT」の「一般消費者への啓発活動」へ参画し、バングラデシュの小学生に手洗いと食の安全に関する衛生習慣の啓発活動を開始しました。

この活動では、小学校教員に対して啓発活動のための研修を行い、教員が各小学校での指導を通じて、児童だけでなくその保護者や地域住民への衛生啓発活動を展開することで、持続的に活動が継続されることが見込まれます。大型の紙芝居やカードゲームを用いることで、子どもたちは正しい衛生行動を、楽しく学ぶことができます。

紙芝居に用いられるイラスト等は、ダッカ大学の監修を受け、先生方もわかりやすいと評判です。

2023年は、ナラヤングンジ県の小学校全539校の教員と小学生2万4,233名がこの活動に参加しました。

2024年は更に規模を拡大して、多くのバングラデシュの人々に衛生習慣を広めるため活動していきます。



子どもたちに説明するための大型 紙芝居



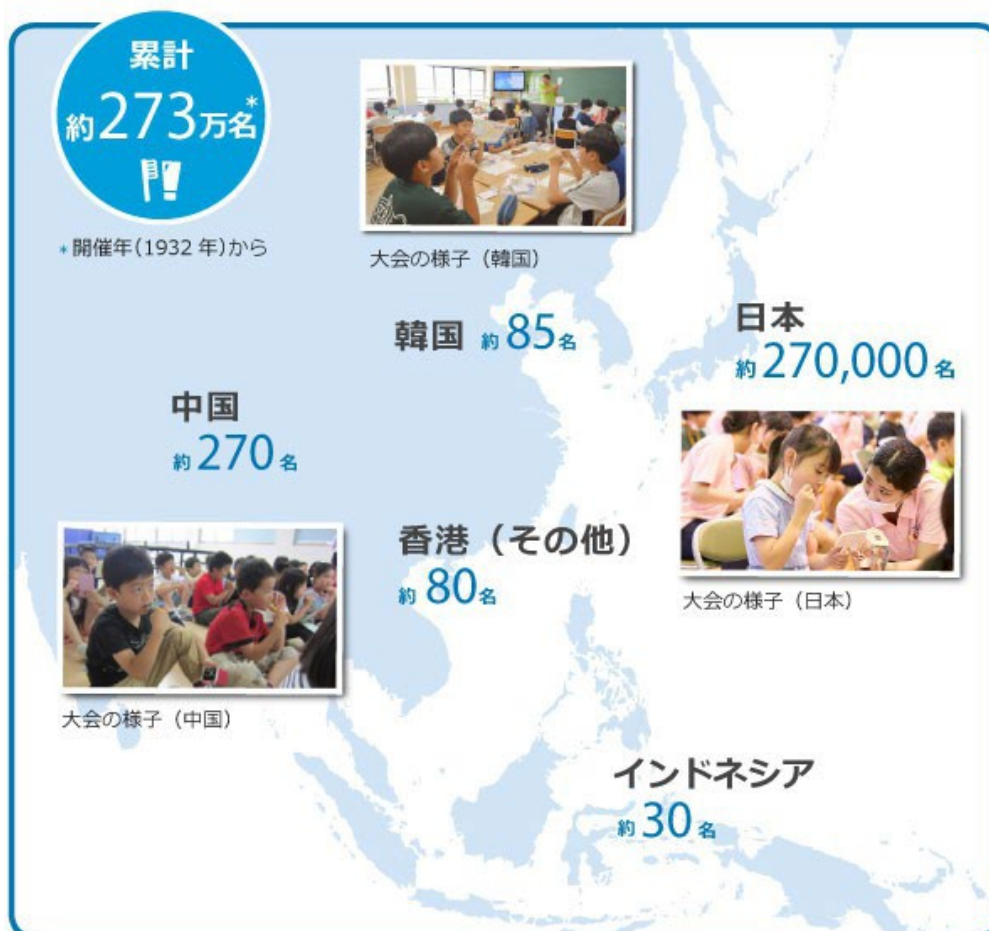
衛生啓発活動の様子

アジアを中心とする各国で開催している「小学生歯みがき大会」

1932年から続いている「全国小学生歯みがき大会」は、小学生を対象に毎年「歯と口の健康週間」の時期（6月4日～10日）に合わせて開催しています。

2023年の第80回大会は、参加校が実施日を設定し、DVD教材を視聴して参加する方式で実施され、4,934校、約27万人の小学生が参加しました。この大会は、日本だけに留まらず、アジアを中心とする各国でも開催しています。

2023年の参加人数



アジアで実施している清潔・衛生習慣への取り組み

ライオングループは、様々なシーンで活用できるハンドソープや消毒剤の提供はもとより、「自分や家族」を感染症などから守るための日々の行動として、「家庭内での感染予防」を中心とした普及啓発活動を、日本を含むアジアの国や地域で展開しています。

世界保健機関（WHO）は、新型コロナウイルスに関する「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態」の宣言を終了と発表する一方で、今後も感染症に警戒を続けるよう各国に呼びかけました。社会経済活動の活性化により人との接触機会が増えてくると、衛生習慣の定着が益々重要になってきます。ライオングループは、「大切な人を守る清潔衛生行動」を習慣化し、グループ各社それぞれの独自性を活かした楽しく実践できる要素を加えて、自治体等とも連携しつつグローバルで清潔・衛生習慣の普及活動を実施しています。

日本発「キレイキレイ」は、北東・東南・南アジアで販売されています。そしてライオングループは、10月15日に制定されている「世界手洗いの日」*に向けて、事業を展開している国や地域で「キレイキレイ グローバルお絵描きマイボトルコンテスト」を開催し、世界中のご家族がより元気な毎日を過ごせることを目指し、楽しい手洗い習慣づくりを応援しています。2023年は8つの国と地域から、5,267件の応募がありました。これからも当社グループ一丸となって、清潔・衛生習慣づくりに取り組んでいきます。

* 水と衛生の問題に取り組む国際機関や大学、企業などによって、国際衛生年の2008年に設定



詳細は、当社のWebサイトにて公開しています。

 [『キレイキレイ』 グローバルお絵描きマイボトルコンテスト](#)

 [Kirei Kirei キレイキレイ supports Global Hand Washing Day : My Bottle Sticker Drawing Contest](#)

ライオンのエコ製品（環境配慮型製品）

- ▼ ライオンのエコ製品（環境配慮型製品）とは
- ▼ 暮らしの中のエコ製品
- ▼ ライオンのこだわり

ライオンのエコ製品（環境配慮型製品）とは

ライオンのエコ製品とは、当社独自の「ライオンエコ基準」をクリアした環境配慮型製品です。ライオンは、生活者の皆さまが心地よく暮らすことがいつの間にかエコにつながる製品を提供するとともに、生活者の皆さまと双方向のコミュニケーションを行い、「エコの習慣化」を推進してまいります。



ライオンエコ基準とは



暮らしの中のエコ製品



当社では、様々な生活シーンにおいてエコ習慣につながる製品を取り揃えております。

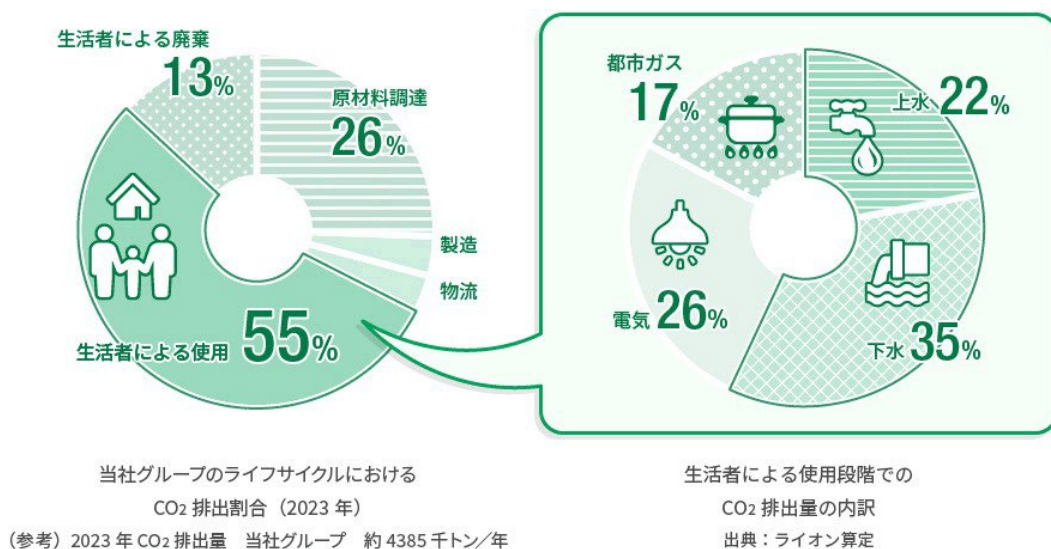
> 「暮らし、まいにち、エコ。」マーク表示商品一覧

> ライオンのエコ・パンフレット  (PDF : 5.4MB)

ライオンのこだわり

節水型製品

水の使用とCO₂排出の関係



当社グループ事業による、製品のライフサイクルにおけるCO₂排出割合において、「生活者による使用」の場面でのCO₂排出量の割合が最も高くなっています。(左グラフ)

そのCO₂排出量の内訳では、「上下水の利用」が半分以上を占めるため(右グラフ)、節水をすることはCO₂排出をおさえ、地球温暖化防止につながるエコな行動であるといえます。

節水に繋がるすすぎ1回洗濯は、自分にも環境にも良いこと



洗濯機のすすぎ回数を変更する



すすぎ1回洗濯による節水効果



※1 2人以上世帯の平均洗濯回数（約310回/年）及び主要4社縦型洗濯機における衣類3Kg・標準コースで洗濯した場合の平均水量（すすぎ2回約123L/回、すすぎ1回約87L/回）より算出。（ライオン調べ）
 ※2 浴槽での使用水量を200ℓとし毎日溜めた場合として算出。



※3 全世帯の総洗濯回数（約1468万回/年）及び主要4社縦型洗濯機における衣類3Kg・標準コースで洗濯した場合の平均水量（すすぎ2回約123L/回、すすぎ1回約87L/回）より算出。（ライオン調べ）
 ※4 黒部ダムの総貯水容量（約2億m³）から算出。

■ NANOX oneなら節水+衣類長持ち！



すすぎ 1 回でお洗濯

節水・節電のお洗濯で、
地球にも家計にもやさしいエコ習慣を。



洗浄力

新たに「高性能界面活性剤」と「高性能な酵素」を
配合し、頑固な汚れにも高い洗浄力を実現！

消臭力

部屋干し臭を防ぐ！
嫌なニオイの発生を抑える“新消臭成分*”を採用
※ニオイ専用・PRO に搭載

色変化
防止力

衣類同士の摩擦を防止し、色あせを抑制！さらに、
洗濯槽内での再汚染（汚れ戻り）を防止



黄ばみを防ぐ



黒ずみ・くすみを防ぐ



色あせ・色落ちを防ぐ

[Lidea【マンガ】お洗濯マイクロファンタジー！超高機能洗剤「NANOX one」の洗浄成分たちの世界](#)

[NANOX one ブランドサイト](#)

つめかえ製品

準備中

ライオンエコ基準とは

- ✓ ライオンエコ基準とは
- ✓ ライオンの環境ラベル「暮らし、まいにち、エコ。マーク」

ライオンエコ基準とは

製品の原材料調達から廃棄までの各段階における環境負荷を定量的に評価する、ライフサイクルアセスメント（LCA）の視点に基づく「ライオンエコ基準」を設定しています。各項目の評価基準をひとつ以上クリアしたものを「エコ製品」と規定しています。2023年は、ライオンの家庭品*の売上のうち、82%が「ライオンエコ基準」をクリアしたエコ製品でした。

エコ製品売上比率の推移（国内）

2017年	2020年	2021年	2022年	2023年
76%	80%	82%	81%	82%

*オーラルケア、ビューティケア、ファブリックケア、リビングケア分野

ライオンエコ基準の評価項目と評価基準

ライフサイクル ステージ	評価項目	評価基準
①原料調達	植物原料の使用 持続可能な原料の使用	<ul style="list-style-type: none">内容物（有機成分）中の植物原料比率が50%以上植物由来原料のなかで生物多様性に配慮した原料を50%以上使用
②材料調達	リサイクル材料の使用 植物由来材料の使用	<ul style="list-style-type: none">再生材料の使用率が10%以上板紙の場合は、古紙または間伐材、認証林パルプの使用率が94%以上植物由来樹脂の使用率が20%以上
③製造	省エネ 水使用量の削減 化学物質使用量の削減 廃棄物量の削減	<ul style="list-style-type: none">製造段階の温室効果ガスを基準製品*より20%以上削減製造段階の水使用量を基準製品*より20%以上削減製造段階の原料以外の化学物質使用量を基準製品*より20%以上削減製造段階の廃棄物量を基準製品*より20%以上削減
④物流	濃縮化、コンパクト化	<ul style="list-style-type: none">基準製品*より20%以上内容物を濃縮化あるいは容器をコンパクト化
⑤使用	使用時の省エネ 使用後の温室効果ガス排出量削減 水使用量の削減（節水）	<ul style="list-style-type: none">製品使用に伴うエネルギーを基準製品*より20%以上削減使用後に排出される温室効果ガスを基準製品*より20%以上削減使用時の水使用量を基準製品*より20%以上削減
⑥廃棄	包材削減 詰め替え	<ul style="list-style-type: none">本体容器包材量を基準製品*より15%以上削減詰め替え容器包材量を本体包材量の50%以上削減

* 基準製品：「Eco Challenge 2050」の目標基準年である、2017年発売の製品とする

ライオンの環境ラベル「暮らし、まいにち、エコ。マーク」



「暮らし、まいにち、エコ。」マークは、企業スローガン「今日を愛する。」の考え方に則った環境メッセージ「ライオンの環境への想い」を端的に表した環境スローガン「暮らし、まいにち、エコ。」と環境マークを合わせて表現した、当社の環境活動のシンボルです。お客様が環境に配慮した製品を選べるよう、当社独自の「ライオンエコ基準」をクリアした製品に、環境ラベルとしてエコな理由とともに表示しています。

> 「暮らし、まいにち、エコ。」マーク表示製品一覧

エコな理由 >>>

eco LION 暮らし、まいにち、エコ。

本体容器につめかえて使うことで、廃棄プラスチック量を約83%削減できます。
(本体380gの容器との比較。重量比)

< 製品への表示例 >
NANOX oneつめかえ790g

その他「暮らし、まいにち、エコ。」マーク表示製品の例

『NANOX one PRO』本体

『CHARMY Magica』本体

『キレイキレイ 薬用泡ハンドソープ』つめかえ品